



福岡大学要覧2018



# 2018 福岡大学要覧

FUKUOKA UNIVERSITY  
GUIDEBOOK

人をつくり、時代を拓く。

福岡大学

# INDEX

FUKUOKA UNIVERSITY  
GUIDEBOOK 2018



## 大学概要

学長挨拶・建学の精神	2
組織図	4
役員一覧	6
沿革	7
事業計画(概要)	10

## 教育

学年暦	12
福岡大学の三つのポリシー	13
共通教育	14
学部	15
大学院	19
国際交流	22
海外協定校との国際交流プログラム	22
学部独自の交換留学・海外研修	25

取得できる教員免許状	26
エクステンションセンター	27
課外教育活動	28
附属学校・留学生別科	30

## 研究

研究推進部	32
研究部門	32
産学知財部門	34
研究機関研究所	35

## 医療

福岡大学病院	38
福岡大学筑紫病院	40
福岡大学西新病院	42
福岡大学博多駅クリニック	43

## 地域貢献

ボランティア活動	44
公開講座	45
福岡市との連携事業	46

## 教育研究施設

図書館	48
教育開発支援機構	50
情報基盤センター	51
各センター	52

## 学生支援

福大生ステップアッププログラム	54
奨学制度・学生保険	56

## 施設・建物

61

## DATA [データ編]

64

学生数	附属学校 生徒数・卒業生数
入学試験状況	留学生別科 学生数・修了者数
出身校所在県別入学状況	授業料等納入金
卒業生総数	図書館蔵書数・利用状況
博士の学位授与数	学外からの研究費受入額
卒業・修了後の進路	校地・校舎の面積
就職状況	平成30年度
教職員数	学校法人福岡大学収支予算
附属学校教職員数	平成28年度
教員の年齢構成	学校法人福岡大学収支決算
外国籍教員数	
海外協定校一覧	情報発信
外国人留学生数	キャンパスマップ
海外派遣学生数	アクセスマップ

# Active 福岡大学



福岡大学長  
山口 政俊

80年を超える歴史と伝統を持つ福岡大学は、「建学の精神」と「教育研究の理念」の下、9学部31学科、大学院10研究科34専攻を擁する西日本屈指の私立総合大学として確固たる地位を築いてきました。

グローバル化、少子高齢化、科学技術の進展など激変する現代社会にあって、高等教育にも大きな変革が求められています。福岡大学は、本来の使命である教育・研究・医療のさらなる質的向上を図り、地域社会や国際社会に一層貢献していきます。

そのため「福岡大学ビジョン2014-2023」を中心に据え、大きな視野と中長期的な視点で新たな成長戦略を策定し実行します。創立100周年に向けて、今一度「建学の精神」に立ち返り、活力と魅力溢れる大学「アクティブ福岡大学」としてさらに前進していきます。

## 福岡大学校歌

筑紫野は

玄海の汐ざいはるか  
背振ねを指さすところ  
うつくしきわれらが母校  
われらが理想  
道こそはけわしけれ  
人らしき人にあるべく  
輝ける明日を望みて  
若き日の今日を学ばん

作詞／狩野満  
作曲／飯田信夫  
編曲／平井哲三郎

## 建学の精神

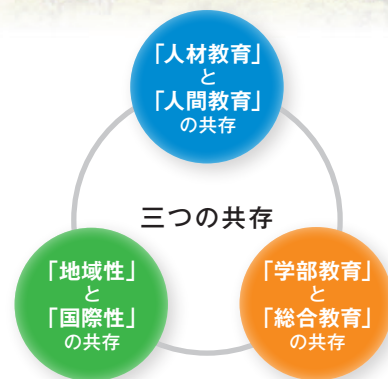
思想堅実

穏健中正

質実剛健

積極進取

## 教育研究の理念



## 福岡大学 ビジョン 2014-2023

福岡大学は、九州に位置する総合大学として地域との絆を大切にしつつ、時代や社会の要請に応じて教育・研究・医療の拠点として広く社会に貢献します。特に、次の4つを重点項目とします。

1

時代の要請や社会のニーズに対応した教育・研究・医療の提供

2

先進的で高度な研究活動の遂行

3

アジア諸国との関係を中心にして行うグローバル人材育成

4

福岡を中心とする地域の活性化と発展の促進



# 役員一覧

平成30年5月1日現在

## ■ 学校法人役員

理事長	貫 正義
副理事長	竹島 和幸
〃	川崎 隆生
専務理事	山口 政俊
常務理事	黒瀬 秀樹
〃	中川 誠士
〃	星乃 治彦
〃	大慈弥 裕之
〃	山村 昌次
理事	山縣 浩
〃	小野寺 一浩
〃	姜 文源
〃	井上 伊知郎
〃	永田 潔文
〃	森山 茂章
〃	朔 啓二郎
〃	加留部 善晴
〃	田中 守
〃	井上 亨
〃	相良 浩文
〃	青柳 俊彦
〃	猪野 生紀
〃	大野 憲俊
〃	川畑 懿子
〃	久保田 勇夫
〃	田中 優次
〃	森本 廣
監事	権藤 尚彦
〃	堀 芳郎

## ■ 大学役職員

学 長	山口 政俊
副 学 長	黒瀬 秀樹
〃	中川 誠士
〃	星乃 治彦
〃	大慈弥 裕之
事務局 長	山村 昌次
人文学部 長	山縣 浩
法学部 長	小野寺 一浩
経済学部 長	姜 文源
商学部 長	井上 伊知郎
理学部 長	永田 潔文
工学部 長	森山 茂章
医学部 長	朔 啓二郎
薬学部 長	加留部 善晴
スポーツ科学部 長	田中 守
教務部 長	関口 浩喜
学生部 長	永星 浩一
図書館 長	有岡 律子
研究推進部 長	中島 学
第二部 主事	笹川 洋平
福岡大学病院 長	井上 亨
福岡大学筑紫病院 長	向野 利寛

# 沿革



左) 昭和9年5月21日  
第1回入学式

右) 昭和12年  
第1回卒業式

## ■ 福岡大学のあゆみ

昭和 9(1934)年	4月	福岡高等商業学校を創立
昭和19(1944)年	4月	福岡高等商業学校と九州専門学校(勸弘文学舎設置)を統合し、九州経済専門学校を設立
昭和21(1946)年	4月	福岡経済専門学校と改称
昭和24(1949)年	4月	福岡経済専門学校と福岡外事専門学校(勸福岡外国語学園設置)を統合し、福岡商科大学(商学部商学科)を設立
昭和25(1950)年	4月	福岡商科大学短期大学部第一部(商経科・貿易科・英文科)・第二部(商経科・貿易科・英文科)を併設
昭和28(1953)年	4月	商学部第二部(商学科)を増設
昭和31(1956)年	4月	福岡大学と改称 法経学部(法学科・経済学科)を増設
昭和33(1958)年	3月	福岡大学短期大学部を廃止
昭和34(1959)年	4月	法経学部を分離し、法学部(法律学科)および経済学部(経済学科)を増設
昭和35(1960)年	4月	薬学部(薬学科)を増設 法学専攻科、経済学専攻科および商学専攻科を設置
昭和37(1962)年	4月	工学部(機械工学科・電気工学科)を増設
昭和39(1964)年	4月	工学部に土木工学科および建築学科を増設
昭和40(1965)年	3月	法学専攻科および経済学専攻科を廃止
	4月	大学院(法学研究科民刑事法専攻および経済学研究科経済学専攻の各修士課程)を設置 薬学専攻科を増設
昭和41(1966)年	4月	薬学部製薬化学科、工学部に電子工学科を増設
昭和42(1967)年	4月	商学部に貿易学科を増設 法学研究科に公法専攻修士課程および民刑事法専攻博士課程、経済学研究科に経済学専攻博士課程を増設
昭和43(1968)年	3月	商学専攻科および薬学専攻科を廃止
	4月	経済学部に産業経済学科を増設 商学研究科商学専攻および薬学研究科薬学専攻の各修士課程を増設
昭和44(1969)年	4月	人文学部(文化学科・英語学科・仏語学科)および体育学部(体育学科)を増設 工学部に化学工学科を増設
昭和45(1970)年	4月	理学部(応用数学科・応用物理学科・化学科)を増設 人文学部に独語学科、法学部に経営法学科を増設 商学研究科に商学専攻博士課程、工学研究科機械工学専攻および電気工学専攻の各修士課程を増設



左) 昭和20年代初め  
福岡経済専門学校の正門  
中) 昭和26年頃  
福岡商科大学平和台校舎  
の正門は福岡城  
右) 昭和35年  
福岡大学全景



左) 昭和44年  
創立35周年記念式典  
中) 昭和51年  
医学部講義風景  
右) 平成4年  
ノーベル賞受賞者  
日本フォーラム

昭和46(1971)年	4月	法学研究科に公法専攻博士課程を増設
昭和47(1972)年	4月	<b>医学部</b> (医学科)を増設
昭和48(1973)年	8月	<b>福岡大学病院</b> を開設
昭和49(1974)年	4月	工学研究科に化学工学専攻修士課程を増設
昭和50(1975)年	4月	薬学研究科に薬学専攻博士課程を増設
昭和51(1976)年	4月	<b>理学研究科</b> 応用物理学専攻および化学専攻の各博士課程を増設
昭和53(1978)年	4月	<b>医学研究科</b> 人間生物系専攻、感染生物系専攻、病態構造系専攻、病態機能系専攻、病態生化学系専攻および社会医学系専攻の各博士課程を増設
昭和57(1982)年	4月	<b>人文科学研究科</b> 英語学英米文学専攻および仏語学仏文学専攻の各修士課程、理学研究科に応用数学専攻修士課程を増設
昭和60(1985)年	6月	<b>福岡大学筑紫病院</b> を開設
昭和62(1987)年	4月	人文学部に歴史学科および日本語日本文学科を増設
平成 2(1990)年	4月	理学研究科に応用数学専攻博士課程、工学研究科に電子工学専攻および建設工学専攻の各修士課程、 <b>体育学研究科</b> 体育学専攻修士課程を増設
平成 4(1992)年	4月	人文科学研究科に史学専攻、日本語日本文学専攻および独語学独文学専攻の各修士課程を増設
平成 5(1993)年	4月	工学研究科にエネルギー・環境システム工学専攻および情報・制御システム工学専攻の各博士課程を増設
平成 6(1994)年	4月	人文科学研究科に史学専攻および日本語日本文学専攻の各博士課程を増設
平成 7(1995)年	4月	人文学部独語学科および仏語学科をドイツ語学科およびフランス語学科に改称
平成 9(1997)年	4月	人文科学研究科に英語学英米文学専攻、独語学独文学専攻および仏語学仏文学専攻の各博士課程、理学研究科に地球圏科学専攻修士課程を増設
平成10(1998)年	4月	理学部に地球圏科学科を増設 工学部電子工学科を改組して電子情報工学科、体育学部を改組して <b>スポーツ科学部</b> (スポーツ科学科・健康運動科学科)を増設
平成11(1999)年	4月	人文学部に東アジア地域言語学科、商学部に経営学科を増設 人文科学研究科に社会・文化論専攻修士課程、理学研究科に地球圏科学専攻博士課程を増設
平成12(2000)年	4月	人文科学研究科に教育・臨床心理専攻修士課程を増設
平成14(2002)年	4月	人文科学研究科に教育・臨床心理専攻博士課程、工学研究科に資源循環・環境工学専攻修士課程を増設
平成15(2003)年	4月	工学部化学工学科および土木工学科を化学システム工学科および社会デザイン工学科に改称 体育学研究科体育学専攻を <b>スポーツ健康科学研究科</b> スポーツ健康科学専攻に改称

平成16(2004)年	3月 4月	工学部電子工学科を廃止 スポーツ健康科学研究科にスポーツ健康科学専攻博士課程を増設 <b>法書実務研究科</b> 法務専攻専門職学位課程(法科大学院)を増設 薬学部薬学科および製薬化学科を医療薬学科および生命薬学科に改称 工学研究科電子工学専攻および化学工学専攻を電子情報工学専攻および化学システム工学専攻に改称
平成17(2005)年	3月	体育学部(体育学科)を廃止
平成18(2006)年	4月	薬学部医療薬学科および生命薬学科を改組して薬学科(6年制)を増設
平成19(2007)年	4月	人文学部に教育・臨床心理学科、医学部に看護学科を増設
平成20(2008)年	4月	理学部応用物理学科を物理科学科に改称 医学研究科人間生物系専攻、感染生物系専攻および病態生化学系専攻を人体生物系専攻、生体制御系専攻および先端医療科学系専攻に改称
平成22(2010)年	4月 9月	薬学研究科に健康薬科学専攻修士課程を増設 薬学部生命薬学科を廃止
平成23(2011)年	3月 4月	薬学部医療薬学科を廃止 薬学研究科薬学専攻博士課程前期を廃止 医学研究科に看護学専攻修士課程を増設
平成24(2012)年	4月	薬学研究科に薬学専攻博士課程(4年制)を増設 <b>留学生別科</b> を設置
平成26(2014)年	3月	薬学研究科薬学専攻博士課程後期を廃止
平成30(2018)年	4月	<b>福岡大学西新病院</b> を開設

## ■ 附属学校のあゆみ

昭和23(1948)年	4月	福岡外事専門学校附属大濠中学校を設立
昭和24(1949)年	4月	福岡商科大学附属大濠中学校と改称
昭和26(1951)年	4月	福岡商科大学附属大濠高等学校を設立
昭和31(1956)年	4月	福岡大学附属大濠高等学校、同附属中学校と改称
昭和33(1958)年	3月	福岡大学附属大濠中学校を廃止
昭和50(1975)年	4月	福岡大学附属看護学校を設立
昭和51(1976)年	10月	福岡大学附属看護専門学校と改称
平成 8(1996)年	4月	福岡大学附属大濠中学校を設立
平成21(2009)年	3月	福岡大学附属看護専門学校を廃止
平成22(2010)年	4月	福岡大学附属若葉高等学校を設立 (学校法人九州女子高等学校と合併し九州女子高等学校を改称)

# 学校法人福岡大学 事業計画(概要)

国の教育政策や本学が置かれている状況等を踏まえ、本法人と法人が設置する大学および附属学校の事業活動について、平成30年度学校法人福岡大学事業計画を策定しました。

## I 法人

- (1) 経営
  - ・ 中長期計画の策定
  - ・ 経営基盤の強化
  - ・ 病院経営基盤の強化
  - ・ 危機管理体制の整備
  - ・ 西新病院の開院および運営の円滑化
  - ・ 若葉高等学校の男女共学化への対応
  - ・ 収益事業の見直し・強化
  - ・ 同窓会組織との連携強化
- (2) 財務
  - ・ 効率的な予算編成
  - ・ 寄付金事業の推進
- (3) 組織・人事
  - ・ ダイバーシティの推進
- ・ 働き方改革の推進
- ・ 教職員を対象とした能力開発の推進
- ・ 教育職員の適正配置の検証
- ・ 事務組織の再編
- (4) 環境整備
  - ・ 教育研究施設および医療施設のグランドデザインならびに中長期施設整備計画の策定
  - ・ 施設建設の検討および実施
  - ・ 耐震補強工事の実施
  - ・ 学内情報システムの更新
  - ・ 情報セキュリティの強化
- (5) 広報
  - ・ ブランド力の強化
  - ・ 社会への説明責任を踏まえた情報発信の強化

## II 大学

### 1. 教育

- (1) 学生の受け入れ
  - ・ 高大接続改革に向けた対応
  - ・ 入試広報の強化・充実
- (2) 高大接続・連携の推進
  - ・ 推薦入試制度(附属校、指定校、A方式、B方式等)の見直しと充実
- (3) 学士課程教育の充実
  - ・ 教学系組織の再編の推進
  - ・ カリキュラム・ポリシーに基づいたカリキュラムの再検討とスリム化
  - ・ 共通教育の充実
  - ・ 学部学科の新設および再編に向けた検討
  - ・ 地域と連携した全学横断的な教育プログラムの開発
  - ・ リカレント教育を見据えた教育内容の充実
- ・ アクティブ・ラーニング型授業による教育内容の改善
- ・ 多様な成績評価
- ・ 学生による授業アンケートの活用
- ・ 教学IRの活用
- ・ 修学指導の充実
- (4) 大学院教育の充実
  - ・ 学生確保に向けた取り組みの強化
  - ・ 社会的需要を踏まえた教育プログラムの開発
  - ・ リカレント教育の検討
- (5) 教育の質保証
  - ・ 全学的教学マネジメント体制の構築
  - ・ 内部質保証システムの再構築
  - ・ 組織的教育改善活動の実施
  - ・ 学習成果の測定法の検討と調査

- (6) 国際化
  - ・ 国際化推進組織の構築
  - ・ G.A.P.科目の充実および拡大
  - ・ 日本人学生の海外派遣拡大
  - ・ 外国人留学生受け入れの拡大
  - ・ 学部の国際化に資する活動の充実
- (7) 学生支援の充実
  - ・ 障がい学生支援の推進
  - ・ 正課外教育の充実
  - ・ スポーツ活動の強化
  - ・ 直営寮(自修寮、体育寮)の建替えの検討
- (8) 就職支援の充実
  - ・ キャリアサポートの充実
  - ・ インターンシップの充実・強化

### 2. 研究

- (1) 研究高度化の推進
  - ・ 研究IRの充実・促進
  - ・ 科研費の採択率および採択件数の向上
  - ・ 外部研究資金の獲得推進
- (2) 研究成果の社会への還元
  - ・ 研究ブランディング事業の推進
  - ・ 知的財産の管理・運用
  - ・ 研究成果の発信・活用

### 3. 医療

- (1) 福岡大学病院
  - ・ 高度急性期医療の機能維持と地域医療連携の強化
  - ・ 地域医療および国際医療の推進
- (2) 福岡大学筑紫病院
  - ・ 医療機能分化と連携の推進、在宅医療支援
  - ・ 医師等、医療従事者の労働環境の整備、男女共同参画の推進
- (3) 福岡大学博多駅クリニック
  - ・ 女性医療の推進
  - ・ 一般診療・健診(検診)事業の充実
- (4) 福岡大学西新病院
  - ・ 開院および運営の円滑化

### 4. 社会貢献および地域連携

- ・ 地域連携・地域活性化に資する学内組織の整備
- ・ プラットフォームの形成
- ・ 地域連携活動の強化
- ・ 産学官連携事業の充実
- ・ 災害時拠点としての体制整備
- ・ ボランティア活動の支援
- ・ 生涯学習支援

## III 附属学校

### 1. 附属大濠中学・高等学校

- ・ アクティブ・ラーニングの推進
- ・ キャリア教育の推進
- ・ 教育課程の充実
- ・ 進路指導の充実
- ・ 安定的な財政基盤の確立

### 2. 附属若葉高等学校

- ・ 学校改革の推進
- ・ 高大一貫教育の一層の充実
- ・ グローバル教育の基盤整備
- ・ 全人教育の基盤整備と実践
- ・ 授業改善への取り組みの強化
- ・ 学校運営強化のための組織の再編と規程等の見直し

※本学公式ウェブサイトの情報公表「事業計画・事業報告」(<https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/reporting/>)では、詳細な情報を公開していますのでご覧ください。

# 学年暦 平成30年度

Campus  
Calendar

4 Apr 1 学年開始・入学式  
10 前期授業開始

5 May 21 創立記念日

6 June 25~29 学術文化祭

7 July 1 学術文化祭  
24 前期授業終了  
25 前期定期試験開始

8 Aug 3 前期定期試験終了  
4 夏季休業開始  
4 オープンキャンパス

9 Sep 13 夏季休業終了  
14 後期授業開始  
29 前期卒業式

10 Oct

11 Nov 2~4 学園祭

12 Dec 27 冬季休業開始

1 Jan 4 冬季休業終了  
16 後期授業終了  
17 後期定期試験開始  
29 後期定期試験終了

2 Feb

3 Mar 19 卒業式  
31 学年終了



# 福岡大学の三つのポリシー

福岡大学は、「建学の精神」に基づいた全人教育を目標として、「教育研究の理念」に掲げる三つの共存をはかることによって、真理と自由を追求し、自発的で創造性豊かな人間を育成し、社会の発展に寄与することを使命としています。地域に密着し、地域と融合した総合大学として、コミュニケーションを大切に、社会から信頼される人材を育成します。

1

## アドミッション・ポリシー

本学の「建学の精神」を理解した、次のような人々を広く国内外から受け入れます。

1. 考え方がしっかりしており独断や偏見にとらわれない生き方を求める人
2. 温和で包容力がありバランス感覚に優れた能力を身につけたい人
3. 誠実で責任感が強く何事にも屈しない人生をめざす人
4. 新しいこと、困難なことに自ら進んで取り組んで行こうとする人

2

## カリキュラム・ポリシー

本学の「教育研究の理念」に基づき、すべての学生に提供する「共通教育科目」と、各学部学科に設置する「専門教育科目」の二つを大きな柱とし、それぞれの学部学科の教育目標にあわせたカリキュラムを編成します。また、正課外教育においても、充実した各種教育プログラムを展開し、全教職員で本学学生の人間の成長を支援し、全人教育を実現します。

1. 全学に提供する共通教育科目をとおして、専門性にとらわれない幅広い視野と豊かな人間性を持つ人材を育成
2. 各学部学科が設置する専門教育科目をとおして、専門的な知識や技能を高め、社会の進歩や変革に応え得る深い学識を有する人材を育成
3. 様々な教育プログラムをとおして、国際性と地域性を兼ね備えた21世紀に通用する人材を育成

3

## ディプロマ・ポリシー

本学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 修得した知識・技能・態度により、自らが発見した新たな課題を解決する力
2. 職業生活、社会生活に必要な知的活動を支えるコミュニケーション能力や論理的思考力
3. 自律しながらも他者と協調して行動でき、社会の一員として社会の発展に寄与できる力



## 共通教育

福岡大学は「建学の精神」と「教育研究の理念」に基づき、社会的良識と幅広い視野を持つ品格ある人材を養成するため、学部・学科の枠を超えて全学生を対象に共通教育科目を提供しています。

本学では、共通教育科目を主に1・2年次に配置し、それと並行して専門教育科目を履修するカリキュラムが採用されています。本学で開講される全授業科目の3分の1は共通教育科目です。

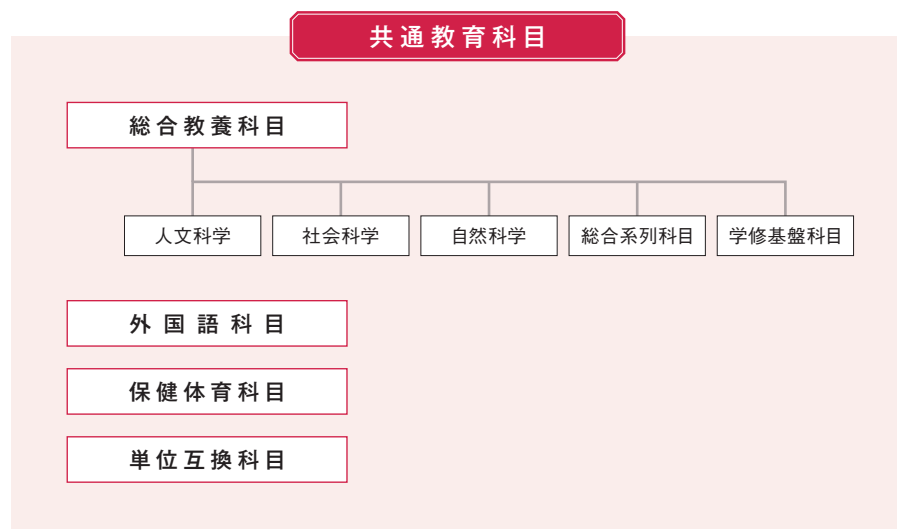
共通教育科目は、総合教養科目、外国語科目、保健体育科目、および単位互換科目の科目群から構成されています。

総合教養科目は、人文科学・社会科学・自然科学の領域のほか、現代社会の諸問題を領域横断的な視点で学ぶ総合系列科目、主体的に継続して学ぶ人に成長するための基盤形成を目的とする学修基盤科目の5つに分けられます。

外国語科目は、英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、朝鮮語、ロシア語、日本語（留学生対象）を開講し、「読む・書く・聴く・話す」の4技能の習得を目標とするとともに、語学力の向上と異文化理解の促進を図っています。

保健体育科目では、若干の講義を含む演習形式の「生涯スポーツ演習」と、講義科目である「生涯スポーツ論」を開講し、クオリティ・オブ・ライフを高めるための健康・保健教育を行っています。

なお、福岡市の西部地区に位置する五大学（福岡大学、九州大学、西南学院大学、中村学園大学、福岡歯科大学）の連携事業の一環として、各大学の授業を相互に開放し、単位を認定する単位互換科目も設けています。



## 学部

### 9学部31学科

個性的で多彩な教育プログラムを提供しています。

#### 人文学部

<http://www.hum.fukuoka-u.ac.jp/>

個性あふれる8つの学科で、哲学・宗教学・芸術学・社会学・心理学・地理学・文化人類学・歴史学・教育学・臨床心理学、さらには、日本および諸外国の言語や文化・文学・事情など、多彩な学問領域を学びます。約130人もの多彩な教員による徹底した少人数参加型教育によって、価値観の多様化した現代社会で必要とされる、確かな人間力と幅広い教養を身に付けることを目指した専門教育に取り組んでいます。

設立	昭和44年4月
学科	文化学科、歴史学科 日本語日文学科 教育・臨床心理学科 英語学科、ドイツ語学科 フランス語学科 東アジア地域言語学科
取得できる学位	学士（文学）

#### 法学部

<http://www.law.fukuoka-u.ac.jp/>

現代社会の複雑な諸問題の解決のために、真の法的素養のある人が求められています。バランス感覚豊かな法的素養と資質を身に付けることを第一に、法曹、公務員、企業法務など学生の将来の目標に合わせたコース別カリキュラムを設けています。知的好奇心を喚起し、学生一人一人が意欲的に勉学を進められるように、1年次から少人数教育の充実にも力を入れています。

設立	昭和34年4月
学科	法律学科、経営法学科
取得できる学位	学士（法学）

#### 経済学部

<http://www.econ.fukuoka-u.ac.jp/>

経済学とは、人々の経済活動について実態を調べ、因果関係を明らかにし、法則性を見つけようとする学問です。経済学部の提供するオーソドックスな経済学の科目からは、複雑な経済の動きを理解しイメージする力や論理的思考力を養うことができます。また、実学志向の科目からは、現場において課題を見つけ解決策を提案する問題解決力や行動力を養うことができます。初年次演習をはじめ、少人数教育の充実も図っています。

設立	昭和34年4月
学科	経済学科、産業経済学科
取得できる学位	学士（経済学）

## 商学部

<http://www.comm.fukuoka-u.ac.jp/>

昭和9年設立の福岡高等商業学校をルーツとする商学部は、本学で最も長い歴史と伝統を有する学部です。グローバル社会と地域社会で活躍できる人材の育成を目的として、3つの学科に、流通、金融、交通、情報、保険、経営、商業史、会計、世界貿易、国際ビジネス等に関する多彩な専門科目を配置するとともに、教員と学生との人間的交流を通じて一つの科目をより深く学ぶ少人数制のゼミナールを学部教育の中心として重視しています。会計専門職プログラムを受講して公認会計士・税理士等を目指すこともできます。

また、ゲーム会社等の経営を学ぶクリエイティブ・マネジメントプログラムも開設しています。

設立	昭和24年4月
学科	商学科、経営学科 貿易学科
取得できる学位	学士(商学)

## 商学部第二部

[http://www.comm.fukuoka-u.ac.jp/com\\_evening/](http://www.comm.fukuoka-u.ac.jp/com_evening/)

創設以来、多くの社会人に勉学の場を提供してきました。流通・マーケティング・金融、経営、会計などの専門領域を学ぶことができます。また、情報処理関連の科目群、3つの領域別のゼミナール、さらには韓国・仁川大校への海外研修ゼミナールも設置されています。また会計専門職プログラムにチャレンジすることもできます。昼間部の講義も受講可能で、学費は文系昼間部の半額以下です。学生支援ワークスタディ事業も用意しています。

設立	昭和28年4月
学科	商学科
取得できる学位	学士(商学)

## 理学部

<http://www.sci.fukuoka-u.ac.jp/>

理学とは自然のしくみを探求する学問であり、理学部はその基礎を学び発展させる場です。理学部では、自然界におけるさまざまな現象やそのしくみを徹底的に追究することで得られることとその過程で学んだことが、新しいものを創造する原動力になると考えています。また、解き明かされた自然のしくみを基に新たな科学的な技術を創造し支援するのも理学の重要な役割です。理学部では、数学、物理、化学、生物、地学の分野に加えて分野の垣根を越えて学ぶ、「社会数理・情報」「ナノサイエンス」という2つのインスティテュートも設けています。学生たちは無限に広がる可能性を秘めた理学の世界に日々挑戦しています。

設立	昭和45年4月
学科	応用数学科、物理科学科 化学科、地球圏科学科
取得できる学位	学士(理学)

## 工学部

<http://www.tec.fukuoka-u.ac.jp/>

工学部では、社会で活躍するエンジニアを育成するために、工学の基礎をしっかりと理解するためのカリキュラムを設けています。また、国際基準のJABEE(日本技術者教育認定機構)教育プログラムの実施や、教育へIT機器を積極的に利用しています。大型の実験・研究装置などの教育研究設備も充実しており、これらを使って最先端の研究も行っています。

新しく建設された4号館に設置される「ものづくりセンター」では、構想力やデザイン力の養成だけでなく、近年「異分野の人とチームを組んで行動する能力の養成」が求められていることを踏まえ、総合大学ならではの幅広い交流機会を生かして、文系学部を含む工学部以外の仲間とチームを組んで創作活動を行い、チーム力も育成していきます。

設立	昭和37年4月
学科	機械工学科、電気工学科 電子情報工学科 化学システム工学科 社会デザイン工学科 建築学科
取得できる学位	学士(工学)

## 医学部

<http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/>

医学部は、医学科、看護学科の2学科からなっており、高度の医学知識と専門技術を修得するとともに、常に生命の尊厳と医の倫理を念頭においた教育を実践しています。医学部では、ホスピタリティを持った人間性豊かな医師・看護師を育て、地域医療に貢献してきた実績が、教育にも反映されています。平成23年1月に福岡大学病院新診療棟を開院し、病院本館もリニューアルしています。また、福岡大学筑紫病院は平成25年5月に建て替わりました。

医学部はさらなる発展を目指して、医学の進歩に対応する最新の教育・研究施設を活用し、福岡大学病院、福岡大学筑紫病院、福岡大学西新病院、福岡大学博多駅クリニックと連携しながら、人にやさしい医療を実践できる優秀な医師および看護師を育成していきます。

設立	昭和47年4月
学科	医学科、看護学科
取得できる学位	〔医学科〕学士(医学) 〔看護学科〕学士(看護学)



## 薬学部

<http://www.pha.fukuoka-u.ac.jp/>

薬学部は、医薬品の開発や安全使用に関する基礎的、臨床的、先端研究の推進をもって国民の健康と福祉に貢献することを教育研究の理念としています。この理念に基づき、医療技術の高度化、医薬分業の進展に伴う医薬品の安全使用および医療の担い手としての質の高い薬剤師の育成という社会的要請に応えるため、基礎科学の総合を基盤としながら、医療人としての使命感と倫理観を十分に理解し、高度な薬学の知識を身に付け、臨床に係る高い実践的な能力を備えた薬剤師ならびに教育・研究者を養成することを目的としています。その実現に向けて、卒業時に必要とされる10の資質を修めるカリキュラムを実践し、優秀な薬剤師ならびに教育・研究者を育成していきます。

設立	昭和35年4月
学科	薬学科
取得できる学位	学士(薬学)

## スポーツ科学部

<http://www.spo.fukuoka-u.ac.jp/>

昭和44年創設の歴史ある体育学部を平成10年4月スポーツ科学部に名称変更、改組転換してスポーツ科学科と健康運動科学科を設置し、人間とスポーツ・運動との関わりを高度なスポーツ・健康の医・科学的見地から学びます。さらに、スポーツの真髄と奥義を究め、豊かなスポーツライフを築くリーダーを育成していきます。来るべき学部創立50周年(平成31年)に向けて、教員養成、スポーツ強化、社会・地域貢献、高大連携の強化を柱とした「FUSS Active Plan」を推進しています。

設立	昭和44年4月
学科	スポーツ科学科 健康運動科学科
取得できる学位	学士(スポーツ科学)

注:修業年限は4年。ただし、医学部医学科および薬学部は6年。

## 10研究科34専攻

社会の多様な領域で、より高度で実践的な専門能力を發揮します。

福岡大学大学院では昭和40年の開設以来、社会文化の発展に寄与すべく研究・教育の充実に努めています。

修士課程・博士課程前期では、広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力または高度の専門性を要する職業などに必要な能力を養います。

博士課程後期・博士課程においては、専攻分野について研究者として自立して研究活動を進めるのに必要な研究能力、そしてその基礎となる豊かな学識を養うことを目的としています。

専門職学位課程は、高度の専門性が求められる職業を担うための深い学識および卓越した能力を培うことを目的としています。



## 人文科学研究科

人文科学研究科は、全7専攻において人間性の探究を究極の目的としています。そのために、高度の専門研究と職業能力を兼ね備え、かつ広い展望と自由な批判精神を持つ創造的人材を養成しています。その養成に際しては、いずれの専攻においても教員と院生がマンツーマンで向き合うきめ細かな指導を行っています。

教育・臨床心理専攻は夜間開講大学院として広く社会人にも門戸を開いています。

史学専攻	[博士課程 前期・後期]
日本語日本文学専攻	[博士課程 前期・後期]
英語学英米文学専攻	[博士課程 前期・後期]
独語学独文学専攻	[博士課程 前期・後期]
仏語学仏文学専攻	[博士課程 前期・後期]
社会・文化論専攻	[修士課程]
教育・臨床心理専攻	[博士課程 前期・後期]
取得できる学位	修士(文学)、修士(学術) 博士(文学) 教育・臨床心理専攻は 修士(教育学)、修士(臨床心理学) 博士(教育学)、博士(臨床心理学)

## 法学研究科

<http://www.law.grad.fukuoka-u.ac.jp/>

法学研究科は、法学や政治学に関する高度な専門知識と能力により社会に貢献できる人材の養成を目的としており、公法専攻と民刑事法専攻とに分かれています。それぞれの専攻に応じたカリキュラムを提供しています。少人数による対話形式で講義と演習が行われており、受講者のニーズに応じた教育・研究指導を行っています。博士課程前期の社会人に対しては、夜間でも講義を受講できる対応を取っています。

詳しくは、法学研究科ウェブサイトをご覧ください。

公法専攻	【博士課程 前期・後期】
民刑事法専攻	【博士課程 前期・後期】
取得できる学位	修士(法学)、博士(法学)

## 経済学研究科

経済学研究科は、経済学の先進的な研究を進展させるとともに、その高度な専門知識を社会の中で効果的に適用できる人材の育成を理念とし、学術の発展に寄与する研究者、高度な専門職業人、高い見識を備えた国際的リーダーの養成を目的としています。

経済学専攻	【博士課程 前期・後期】
取得できる学位	修士(経済学)、修士(学術) 博士(経済学)

## 商学研究科

商学研究科は、商学と経営学に関する専門知識と体系的思考力を備え、現代社会をリードし新社会を創造する高い学識と卓越した能力を持つ人材の育成を目的とします。その目的のため、積極的に多様な動機を持つ学生を受け入れ、ニーズに応じたカリキュラムを提供しています。

商学専攻	【博士課程 前期・後期】
取得できる学位	修士(商学)、修士(経営学) 修士(学術)、博士(商学)

## 理学研究科

理学研究科は、自然科学に関する研究を通して自然と調和した社会の健全な発展に貢献するとともに、総合的で深い学識と高度な研究能力を持つ人材およびこれらの学術的素養を生かして社会で活躍できる専門的職業人の育成を目的としています。

応用数学専攻	【博士課程 前期・後期】
応用物理学専攻	【博士課程 前期・後期】
化学専攻	【博士課程 前期・後期】
地球圏科学専攻	【博士課程 前期・後期】
取得できる学位	修士(理学)、博士(理学)

## 工学研究科

工学研究科の修士課程・博士課程前期では、急速な深化と拡大を続けている先端工学の分野で、高度な技術の開発・研究に携わり、社会に貢献し得る人材を育成することを目的としています。

博士課程後期では、修士課程・博士課程前期の6専攻を2専攻に集約し、さらに時代の要請にタイムリーに対応できるよう、社会科学、自然科学と工学の分野連携による学際プログラムを設置して、今日の社会が抱える技術的な諸問題に対し、専門的かつ先駆的研究を加え、新たな解決法を創造します。また、各分野の学会等を通じて新たな学術的知見を提供することによってグローバルな社会に貢献し得る人材を育成することを目的としています。

機械工学専攻	【博士課程 前期】
電気工学専攻	【博士課程 前期】
電子情報工学専攻	【博士課程 前期】
化学システム工学専攻	【博士課程 前期】
建設工学専攻	【博士課程 前期】
エネルギー・環境システム工学専攻	【博士課程 後期】
情報・制御システム工学専攻	【博士課程 後期】
資源循環・環境工学専攻	【修士課程】
取得できる学位	修士(工学)、修士(学術) 博士(工学)、博士(学術)

## 医学研究科

医学研究科博士課程は、医学の諸領域において幅広い専門知識を有し優れた研究を遂行するのみならず研究倫理を有し、その成果を広く社会に伝達・普及できる研究者、および優れた臨床研究能力を備え地域や国際社会に貢献できる臨床医を養成することを目的としています。

看護学専攻修士課程は、看護実践上の問題に主体的に取り組み、科学的根拠に基づく専門性の高い実践能力を持ち、看護を創造的、開発的に探求し続ける高度な実務家、研究家を育成することを目的としています。

人体生物系専攻	【博士課程】
生体制御系専攻	【博士課程】
病態構造系専攻	【博士課程】
病態機能系専攻	【博士課程】
社会医学系専攻	【博士課程】
先端医療科学系専攻	【博士課程】
看護学専攻	【修士課程】
取得できる学位	修士(看護学)、博士(医学)

## 薬学研究科

薬学研究科は、薬学に関する学術の理論および応用を教授・研究し、その深奥を究めて、広く医療の進展に寄与するとの理念の下で、健康薬科学専攻の修士課程および薬学専攻の博士課程を設置しています。

健康薬科学専攻の修士課程においては、創薬科学系・健康科学系研究者および技術者を養成するほか、薬剤師の総合的薬学専門力を強化することによって薬剤師職能の拡大・高度化を図ります。

薬学専攻の博士課程においては、医療現場におけるさまざまな課題に迅速かつ適切に対応できる高度な専門知識と優れた研究能力を備えた薬剤師ならびに医療に対する深い知識と問題解決能力を有する薬学研究者および教育者の養成を行います。

健康薬科学専攻	【修士課程】
薬学専攻	【博士課程】
取得できる学位	修士(健康薬科学) 博士(薬学)

## スポーツ健康科学研究科

スポーツ健康科学研究科は、前期では高度な知識・技術をもとに科学的指導を実践・応用できる専門家を、後期では専門的な領域で自立して研究活動を行える研究者の養成を目的としています。

スポーツ健康科学専攻	【博士課程 前期・後期】
取得できる学位	修士(スポーツ健康科学) 博士(スポーツ健康科学)

## 法曹実務研究科(法科大学院)

<https://www.ilp.fukuoka-u.ac.jp/>

法科大学院は、法曹(弁護士、裁判官、検察官)を養成することを目的とする専門職大学院です。法曹になるためには原則として法科大学院を修了し司法試験に合格することが必要です。本法科大学院では、これまでに65人の合格者を輩出しています。

法務専攻	【専門職学位課程】
取得できる学位	法務博士(専門職)

注：標準修業年限は、修士課程および博士課程前期は2年。博士課程後期は3年。博士課程(医学および薬学研究科)は4年。専門職学位課程(法科大学院)は3年(既修者コースは2年)。  
・人文科学研究科教育・臨床心理専攻(博士課程前期・後期)および薬学研究科健康薬科学専攻(修士課程)は専ら夜間において教育が行われます。

# 国際交流

<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu809/home1/a0800000.htm>

本学では、教育や学術交流を通して、世界の多様な価値観や文化を広い視野を持って理解し、真の国際化に貢献するため、国際社会で大いに活躍できる人材の育成を図っています。

## 福岡大学生の海外派遣

交換留学	海外の大学との協定に基づいて協定校から学生を受け入れると同時に、本学の学生を学籍上「在学」の扱いで協定校に1年間派遣する制度です。 派遣学生には本学から留学援助金が助成され、留学先大学での授業料も免除されます。また、留学先大学で履修した授業科目は本学の授業科目として単位認定されます。
認定留学	本学学生が休学することなく、外国の大学または短期大学に事前に本学の許可を得て留学する制度です。本人の申請に基づいて留学希望の大学を当該学部教授会が審査し、本人の留学目的などが教育上有益であると判断した場合に認められます。 学籍上の取り扱いや単位認定については交換留学の場合と同様ですが、学費は本学と留学先大学の両方に納入しなければなりません。留学手続きは個人で行わなければならないが、交換留学の対象になっていない大学、協定校のない国の大学への留学が可能になることが認定留学制度のメリットであるといえます。
海外研修	海外の大学との協定に基づいて学生を派遣する短期(約3~4週間)の研修制度です。語学研修やホームステイ、寮生活などを通して語学力と国際感覚を養います。選考試験が行われ、本学からは経費の一部が援助されます。
海外語学研修	英語能力、中国語能力の向上を主目的とした2~3週間の研修です。経費は全額自己負担となりますが、選考試験は行われません。

## 外国人留学生の受け入れ

本学では、学位の取得を目的として学部および大学院の正規課程に入学した留学生をはじめ、交換留学生、研究生、短期研修生など多様な形態による外国人留学生が在籍し、日本人学生と共に勉学に励んでいます。

学部留学生 大学院留学生	本学の学部や大学院の正規課程に入学し、学士、修士および博士の学位を取得することを目的とする留学生の受け入れを積極的に行っています。中国、韓国などからの留学生が本学学生と共に勉学に励んでいます。
交換留学生	海外の協定大学から、交換留学生を1年間または半期の期間で受け入れています。交換留学生は日本語能力に応じて、一般の授業科目を受講しています。また、課外活動にも積極的に参加し本学学生との交流を深めています。
研究生	学部や大学院において特定の研究に従事する研究生として多数の留学生が学んでいます。研究生の後に大学院進学を目指す留学生もいます。
外国人研修生	海外の協定大学から研修生が来学し、約2週間本学で実施される日本語・日本文化を中心とした研修を受けると同時に、本学学生との交流を深めています。
留学生別科生	留学生別科では、日本の大学・大学院入学を目指す留学生を受け入れています。留学生別科生は日本語や日本事情等を学んでいます。



国際交流会館

## グローバル人材育成推進事業

急速なグローバル化の進展に伴い、国際社会に対応し得る若い世代の育成が求められています。そのような社会からの負託に応えるべく、本学は平成25年4月より3つの柱からなる「福岡大学グローバル人材育成推進事業」を開始しました。

1

### グローバル・アクティブ・プログラム (G.A.P.)

グローバル(Global)に活躍するアクティブ(Active)な精神を持つ人材の育成を目的とする教育プログラム(Program)~G.A.P.~が事業の一環として平成25年4月にスタートしました(下図参照)。

基礎科目群では、海外に目を向け、必要な準備を行った後に、「グローバル・イングリッシュ」等により、実際に海外で現地研修や語学研修を行います。

さらに、国際教養科目群で海外の文化・歴史や経済・産業などの国際教養のほか、ディベートやレポート・プレゼンテーションなど留学のために必要なスキルを学びます。

高年次に海外での2度目の修学機会を想定し、留学・海外研修科目群に「留学」「海外インターンシップ」を設置しました。

また、G.A.P.ではコミュニケーション能力を語学力と同等に重要であると考え、G.A.P.科目とは異なり単位を伴わないさまざまなG.A.P.講座も設けています。

2

### 海外派遣・受入学生数の大幅な拡大

留学制度とG.A.P.により、海外に派遣する学生数の大幅な増加を図ります。また、宿舎等の受入体制の充実、奨学金制度の充実などにより外国人留学生数を大幅に拡大させます。

3

### 教育課程のグローバル化

英語による授業科目の設置、カリキュラムマップやナンバリングなどカリキュラムの体系化と整備を行います。

## Global Active Program (G.A.P.)



福岡大学グローバル人材育成推進事業は、海外で活躍できる人材とともに、グローバル化した日本、九州を支える人材の育成を推進します。



# 取得できる教員免許状

本学では中学校、高等学校および養護の教員免許状を取得することができます。そのためには、各学部の卒業に要する単位のほかに、教職および教科に関する科目等の規定単位を修得することが必要です。

学部 平成30年度入学生適用

学部	学科	免許状の種類および教科		
		中学校教諭一種	高等学校教諭一種	その他
人文	文化および歴史	社会	地理歴史・公民	—
	日本語日本文	国語	国語	
	教育・臨床心理	社会	公民	
	英語	外国語(英語)	外国語(英語)	
	ドイツ語	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)	
	フランス語	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)	
東アジア地域言語	中国コース	外国語(中国語)	外国語(中国語)	
	韓国コース	外国語(朝鮮語)	外国語(朝鮮語)	
法	全学科	社会	地理歴史・公民	—
経済	全学科		地理歴史・公民・情報	
商	全学科		地理歴史・公民・商業・情報	
商二	商			
理	応用数	数学	数学・情報	—
	物理科	理科	理科・情報	
	化および地球圏科	理科	理科	
工	電子情報工	—	工業・情報	—
	上記以外の学科	—	工業	
医	看護	—	看護	養護教諭一種
スポーツ科	全学科	保健体育	保健体育	—

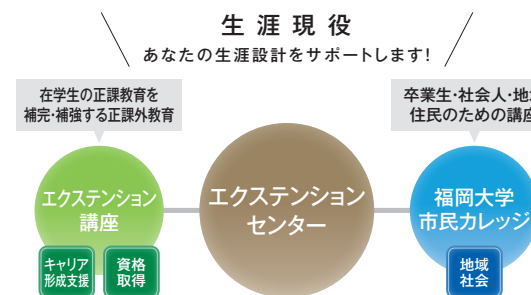
## 大学院（博士課程前期・修士課程） 平成30年度入学生適用

研究科	専攻	免許状の種類および教科	
		中学校教諭専修	高等学校教諭専修
人文科学	史学	社会	地理歴史
	日本語日本文学	国語	国語
	英語学英米文学	外国語(英語)	外国語(英語)
	独語学独文学	外国語(ドイツ語)	外国語(ドイツ語)
	仏語学仏文学	外国語(フランス語)	外国語(フランス語)
	社会・文化論および教育・臨床心理	社会	公民
法学	全専攻	社会	公民
経済学	経済学		
商学	商学	—	商業
理学	応用数学	数学	数学
	上記以外の専攻	理科	理科
工学	全専攻	—	工業
スポーツ健康科学	スポーツ健康科学	保健体育	保健体育

# エクステンションセンター

エクステンションセンターは  
学習活動を支援する正課外教育を行っています。

エクステンションセンターは、人材育成事業を柱にさまざまなエクステンション事業を行っています。学部教育を補完・補強する教育支援から、卒業生をはじめとする社会人へのリカレント教育まで幅広く教育をサポートしています。



公務員採用試験対策講座(合格者座談会)



MOS対策講座 (Word・Excel®スペシャリストレベル)

## 10年後のなりたい自分になるために!

エンカレッジセミナー  
《未来ノート》で  
なりたい自分になる!

エンカレッジセミナーでは、ワークショップを通して「何のために、どう学び、将来どう役立てるのか」という学ぶことへの動機付けを明確にし、人生の戦略を描くトレーニングをします。発想力、論理力、コミュニケーション力を駆使し、自分だけの《未来ノート》を作成します。

## 「夢をカタチに!」するエクステンション講座

学生が社会へスムーズに移行できるように、各種エクステンション講座において資格取得や採用試験対策のサポートをしています。また、福岡大学父母後援会の支援を受けて、各種就職試験対策講座を開講し、就職対策支援も行っています。エクステンション講座では、毎年延べ7,000人を超える学生が自分の「夢をカタチに!」するために頑張っています。

公務員採用試験対策	専門+教養コース、教養コース、公安職コース、技術職コース
国家試験対策	税理士、行政書士、看護師、薬剤師など
教員採用試験対策	小学校・中学校・高校教員など
資格取得	簿記検定、秘書検定、TOEIC® Listening & Reading Test、IELTS™、MOS®、基本情報技術者など
キャリア形成支援	キャリアスクーププロジェクト、企業内定者研修講座

※MOSはMicrosoft Office Specialistの略。  
 ※Excel®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
 ※TOEIC is a registered trademark of Education Testing Service(ETS). This publication is not endorsed or approved by ETS.

## リカレント教育・指導者研修

卒業生をはじめとする社会人を対象に、職業能力の向上となる、より高度な知識や技術を身に付けるためのリカレント教育を実施しています。

その他、公開講座「福岡大学市民カレッジ」を開講し、生涯学習支援を行っています(45ページ参照)。

※この他にも多数講座を開講しています。詳しくは福岡大学エクステンションセンターのウェブサイトをご覧ください。

# 課外教育活動

## 心身を錬磨し

### 自立性や社会性を養う課外教育活動

本学には、学術文化部会34部1同好会、体育部会43部1同好会、さらに愛好会として77団体、商学部第二部に文化部会10部、体育部会9部1同好会、愛好会2団体があり活動しています。これらの各団体の多くが、西日本はもとより全国大会においても優秀な成績を収め、輝かしい実績と伝統を誇っています。

また、「野外教育キャンプ」や「学生チャレンジプロジェクト」「東日本復興夏期セミナー」を募集するなど個性的な課外教育プログラムを実施しています。



## 「1<sup>ワン</sup>パーソン、1<sup>ワン</sup>サークル」の推進

本学は、学生一人一人が大学公認のサークル活動において、共同生活を通じて協調性や行動力といった多面的な能力と豊かな人間性を培う課外教育活動を推奨し、応援します。課外教育活動には、全学生の36%に当たる約7,000人が参加し、活動を通じて人格形成に励んでいます。



### 学長賞

平成22年度創設の「学長賞」は、在学中の課外活動において優秀かつ顕著な成績を収め、本学の名声を高めるなど著しく貢献した学生を卒業式において表彰するものです。

平成29年度は、スポーツ科学部卒業 永石 拓海さん(サッカー部)、太田 亜矢さん(陸上競技部)、石橋 朋弥さん(書道部)が受賞しました。

### 学生 チャレンジ プロジェクト

学生チャレンジプロジェクトは、学生が自主的に自由な発想から企画する独自のプロジェクトを、大学が物心両面で支援する制度(1件につき10万~50万円を助成)です。プロジェクトは身近なことからキャンパスライフ、地域問題、環境問題、福祉、文化、学術、政治経済など、自発的、自主的なものであればジャンルを問いません。学生はこのプロジェクトを通じて、行動力、探究心、創造力等を自由闊達に発揮しています。



# 附属学校・留学生別科

## 附属大濠中学校

<http://www.ohori.ed.jp/>

ハイレベルの進学を目指しながらも、教育目標のもとに幅広い人格の育成を根幹に置く。

平成8年に開校した福岡大学附属大濠中学校は大濠高等学校との中高一貫システムを取っています。ハイレベルの進学を目指しながらも、その根幹には新たな時代に即応した「教育目標」のもとにした幅広い人格の育成があります。

国際的な視野を養う一方、高い知性と豊かな感性を養うことに主眼を置いており、自由で伸びやかな学校生活を送れるように教育環境を整えています。日々の学習はもとより、部活動や課外活動、海外研修など、全て教育目標に即して設定されています。平成23年度から男女共学になりました。



設立 平成8年4月

## 附属大濠高等学校

<http://www.ohori.ed.jp/>

「明朗闊達・自重敬他・研学錬体・進取創業」の校訓のもと、学業・スポーツ・文化の各分野で輝かしい成果を挙げる。

昭和26年の創立以来、建学の精神である「道徳教育」を教育の根幹に据え、「明朗闊達・自重敬他・研学錬体・進取創業」の校訓のもと、各分野で輝かしい成果を挙げています。「中高一貫コース」「スーパー進学コース」「進学コース」の3コースを持ち、おのおのの志望に合わせたクラス編成をするなどきめ細かな指導をしています。

スポーツ面でも、球技・武道・陸上競技のほとんどのクラブが全国大会で活躍するなど、特色ある私学教育の実践に努めています。福岡大学との連携のもとに新校舎・体育館が平成22年に完成し、教育施設がより一層充実しました。

平成24年度から男女共学になりました。



設立 昭和26年4月

## 附属若葉高等学校

<http://www.f-wakaba.ed.jp/>

「強く、正しく、優しく」の校訓のもと、生徒一人一人を大切に、深く生徒にかかわる教育を実践する。

建学の精神である「社会に貢献できる知性と徳性に優れた人間性豊かな人の育成」を教育理念とし、「強く、正しく、優しく」の校訓のもと、社会で活躍できる知性と教養を身に付けた人間の育成に努めています。

福岡大学との連携による高大一貫教育プログラムを提供しながら、若葉フォリオ(修学履歴)の活用、課題研究への取り組み、福岡大学模擬講義などをとおし、大学での高等教育を受けるにふさわしい人材の育成を実践しています。また、正課の学習にとどまることなく、部活動・生徒会活動・ボランティア活動、海外研修等、幅広い教科外活動への積極的参加を促しています。

平成31年4月からは、男女共学校として男女の別なく教育の機会を提供すると共に、コース再編など教育システムを改革します。また、共学化して3年後の4月からは、校地を移転(福岡市南区大楠三丁目)し、最新の教育環境のもとでの新たな学校教育を展開します。



設立 平成22年4月

## 留学生別科

<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu867/index.html>

広く国際文化の交流に寄与するとともに、国際的視野を備えた人材を育成する。

留学生別科は、福岡大学の学部・大学院を始め、日本国内の大学や大学院等への進学を希望する外国人留学生を対象とした教育課程で、日本語・日本事情に関する知識の習得および学部や大学院で学ぶために必要な学力の習得を目的としています。

豊富なカリキュラムの下で、日本語・日本事情に関連した授業を受講できるだけでなく、日本語能力が十分な者については学部授業を聴講することも可能です。留学生別科生は大学キャンパスという好環境の中で、図書館や食堂などの大学の諸施設を利用しながら学ぶことができます。

また、留学生別科では、奨学金や安価で通学に便利な留学生用宿舎の紹介など、有意義な学生生活が送れるような学生サポートも充実しています。

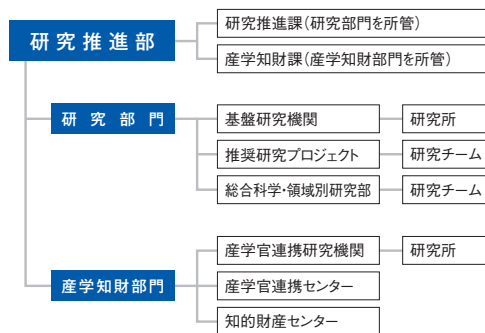


開設 平成24年4月

# 研究推進部

<http://www.suisin.fukuoka-u.ac.jp/home/>

研究推進部は昭和31年に設置された研究所を前身としています。これまで諸分野にわたる研究調査を行い、学術の進歩に寄与することを目的として研究活動を続けてきましたが、平成23年4月に「研究部門」と「産学知財部門」の2部門からなる組織に再編し、研究推進、産学官連携および知的財産の分野を一体化させました。総合的な研究活動および産学官連携事業を推進し、本学が持つ知的資源による社会貢献がより期待できる体制になって活発な活動を行っています。



## 研究部門

### 基盤研究機関

研究活動の活性化と研究水準の向上を図り、本学における研究基盤の将来的構築に寄与することを目的に研究所を設置しています。

福岡大学基盤研究機関研究所

- 福岡・東アジア・地域共生研究所
- 先端分子医学研究所
- てんかん分子病態研究所
- 身体活動研究所
- 隣島研究所
- 心臓・血管研究所
- 再生医学研究所
- 薬毒物探索解析研究所
- 次世代がん治療研究所



### 推奨研究プロジェクト

科研費等の採択を受けた研究課題を基に、さらなる発展的研究課題を設定したプロジェクト(研究チーム)を設置しています。特に若手研究者へ重点的に研究費を配分しています。

### 総合科学・領域別研究部

総合的、国際的、学際的な共同研究の総合科学研究部および学術領域的な共同研究の領域別研究部を設置しています。総合科学研究部には、若手研究者だけにより組織された研究チームも設置しています。現在、総合科学研究部および領域別研究部で約100チームによる研究が進んでいます。

#### 総合科学研究部

- 総合科学研究部研究チームⅠ(主に理系対象)
- 総合科学研究部研究チームⅡ(主に文系対象)
- 総合科学研究部研究チームⅢ(文系理系不問)
- 総合科学研究部研究チームⅣ(若手研究者対象)

#### 領域別研究部

- 人文科学研究部・社会科学研究部研究チーム(一般)
- 人文科学研究部・社会科学研究部研究チーム(重点化)
- 理工学研究部研究チーム
- 生命科学研究部研究チーム

### 学位論文出版助成

本学の専任教育職員の学位取得者または学位論文提出予定者の博士論文出版費用の一部を助成しています。

### 古文書・民俗資料の収集および管理

研究に必要な貴重な古文書や民俗資料(民具等)を収集しています。一部はウェブサイトで公開しています。



中村家文書(幕末期の筑前商人史料)

### 研究成果の公表および公開



研究成果を、論叢、紀要、研究部論集等において発表し、ウェブサイトでも公開しています。

### 学術講演会等の開催

国内外からの著名な研究者を招へいた学術講演会やシンポジウムの開催を支援しています。

### 学会開催支援

本学で開催される学会に係る経費の一部を助成しています。

### 学外研究資金・補助金・助成金等の受け入れおよび管理

科研費等の競争的資金の獲得のために積極的に取り組んでいます。また、受託研究費、寄付研究、研究助成寄附金等を受け入れ、さまざまな分野での研究を行っています。

### 共同研究・研究交流

研究活動をさらに発展させるために、学外研究機関との共同研究や研究交流の受け入れを行っています。

### 研究者情報

本学の研究者の情報(プロフィールや研究業績)をウェブサイトで公開しています(「福岡大学研究者情報」で検索)。

## 産学知財部門

### 産学官連携研究機関

産学官連携活動の推進を図り、研究成果の実用化等の促進を目的に研究所を設置しています。

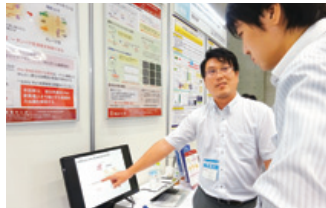
福岡大学産学官連携  
研究機関研究所

都市空間情報行動研究所	ライフ・イノベーション医学研究所
安全システム医工学研究所	複合材料研究所
材料技術研究所	水循環・生態系再生研究所
資源循環・環境制御システム研究所	福岡から診る大気環境研究所
半導体実装研究所	機能・構造マテリアル研究所
加齢脳科学研究所	

### 産学官連携センター

<http://www.sanchi.fukuoka-u.ac.jp/sangakukan/>

平成18年4月に、地域に密着した企業ニーズ対応の産学官連携を目指して設置されました。大学の研究シーズの提供と企業ニーズの発掘を行うためのさまざまな取り組みを行っています。また、総合大学のメリットを生かし、環境、半導体、自動車、ナノ健康、予防医学、バイオ、安全安心な社会整備等、広範囲な分野での産学官連携を通じて、地域の活性化と社会貢献を推進しています。



企業からの技術相談
企業ニーズの発掘
研究シーズの提供
産学交流の場の提供
産学官連携事業
研究シーズ集の作成
学外展示会での研究シーズの紹介
産学連携のコーディネート活動
共同研究・受託研究・技術指導等のマッチング
各種セミナーの開催
福岡大学産学連携協議会

### 知的財産センター

<http://www.sanchi.fukuoka-u.ac.jp/chizai/>

平成20年4月に、本学で生み出された特許、実用新案、意匠、商標、著作、ノウハウなどの知的財産を発掘、権利化し、一元管理するために設置されました。これらの知的財産を産業界に還元し、地域および社会の発展に貢献していきます。

知的財産の創造、保護および活用
発明相談、出願手続き、知的財産評価
知的財産の管理情報の紹介
知的財産に係る啓発、セミナー、教育など

## 研究推進部

# 研究機関研究所

## 基盤研究機関研究所 〈研究部門〉

### 福岡・東アジア・地域共生研究所

東アジアを見据えつつ、福岡都市圏を中心に、地域活性化・男女共同参画社会の実現・地域防災力の向上・地域医療連携の構築等に寄与する基礎研究および地域実践活動を行っています。

### 先端分子医学研究所

癌・糖尿病・肥満などの生活習慣病および免疫関連疾患の多因子疾患群を対象として、病因・病態の解明、さらには、先駆的治療法・予防法開発のための基盤構築に資することを目的として活動しています。

### てんかん分子病態研究所

斬新な取り組みでてんかん分子病態に挑んでいる世界的に見ても数少ない専門研究機関です。さらに、その研究結果から副作用の少ない革新的な治療薬の開発を目指して活動しています。

### 身体活動研究所

国内外の研究機関と連携し、特に、生活習慣病の予防・治療、介護予防、抗加齢に効果的な運動プログラムの開発と運動習慣形成を支援するシステムの構築を目指して活動しています。

### 膝島研究所

独自の手法によりマウスおよびヒト膝島のインスリン産生細胞の障害、再生、起源、分化ならびに創生に関する基盤的研究とその成果を基に糖尿病の根治的治療法の開発を目指して活動しています。

### 心臓・血管研究所

動脈硬化症、虚血性心臓病、心不全、不整脈、肺高血圧症等の先進的治療技術・治療薬の開発に産学官が連携し、研究者がアカデミアを共有し、臨床応用できる物づくりの場として活動しています。

### 再生医学研究所

再生医療は施行される大部分が、細胞治療として提供されています。研究所では、(1)幹細胞選別及び評価チーム、(2)神経再生チーム、(3)血管リンパ管再生チーム、(4)内分泌細胞再生チームの4つの研究チームを編成し、萌芽研究から臨床試験を含むテーマを推進します。

### 薬毒物探索解析研究所

本研究所は、中毒学に関する基礎的、臨床的研究を行い、薬毒物の新規分析法の開発、中毒発症機序の解明等の研究を行うとともに、薬物を用いた犯罪や薬物乱用の防止に資することを目的としています。

### 次世代がん治療研究所

「Precision Medicine」は、遺伝子情報を治療や予防に取り入れる新しい治療です。

また、生物学的プロセスに関与する因子はそれぞれが依存関係・協調関係にあり、時間経過とともに変化していきます。

本研究所は、リキッドバイオプシーによるがんの遺伝子情報を経時的に調べ、がんの早期発見や新しい治療法の発展を目標にしています。

## 産学官連携研究機関研究所 〈産学知財部門〉

### 都市空間情報行動研究所

消費者の回遊行動研究をもとに、まちづくりの科学的方法を開拓してきました。現在、スマホやICT、ビッグデータを活用した回遊動態のリアルタイム把握や来訪者への情報提供など、まちの価値を高めるアナリティクスやビジネスモデルの開発を行っています。

### 安全システム医工学研究所

人のミスなどによって引き起こされる交通事故や産業事故の防止、被害軽減をテーマに掲げ、産学官それぞれに所属するさまざまな分野の研究者が連携しながら「安全」という命題に取り組んでいます。

### 材料技術研究所

安心で安全な社会を支える基礎技術である材料技術に関連する研究分野を対象に、「学際的・国際的」研究を行うプラットフォームを構築して新産業を創出することを目的として活動しています。

### 資源循環・環境制御システム研究所

廃棄物大型実証施設やその研究成果をベースに、廃棄物の無害化技術やリサイクルによる減量化、資源化技術の企業への技術移転とともに、国内外の企業や自治体との新たな産学官連携研究を推進しています。



### 半導体実装研究所

先端半導体を3次元構造に組み立てるために必要な要素技術を開発し、設計から試作、解析、試験までの一連の工程を行うことができる研究所です。高密度で高性能な機器の開発を産学官で連携して推進しています。



### 加齢脳科学研究所

加齢に伴い発症する疾患に対して、疾患にならない体づくりのための研究と同時に、どのようにして発症するかを深く追究し、発症を最低限で食い止める新しい治療法、治療薬の開発を目指して活動しています。

### ライフ・イノベーション医学研究所

ライフサイエンス領域における大学および企業から発信された最先端の研究成果を、医薬品・医療機器・健康関連商品などとして社会へ還元すること、および、それに関わる人材の育成をミッションとして活動しています。

### 複合材料研究所

次世代の技術として期待されている複合素材技術の実用化の実績・経験を生かし、社会ニーズに合った複合素材の総合的開発、特に機能性素材の環境低負荷製造技術の開発を目指して活動しています。

### 水循環・生態系再生研究所

健全な水循環の回復と、失われた生態系の再生を進める技術の確立を目的に、有明海再生を目指した干潟の浄化や雨水社会を実現するために産学官連携で研究を行っています。



### 福岡から診る大気環境研究所

大気環境観測と医学的な研究を融合させることで、福岡とそこに流入する大気の源流であるアジア地域の大气を「診」断するとともに、健全なる地球環境の保全と社会の健康の増進に寄与することを目指しています。



### 機能・構造マテリアル研究所

ヤマモリの持つ特異的な登攀能力など、自然界の持つ特別な機能の発現メカニズムの基礎的解明と、最新の高分子重合技術を応用してそれを再現できるマイクロレベルの構造化が可能な自己組織化能力を持つ新たな機能・構造材料の創製を、産学の研究員が協力して取り組んでいます。

### 事業紹介

#### ～福奏プロジェクト～

文部科学省「平成29年度私立大学研究ブランディング事業(世界展開型)」に採択

<http://www.suisin.fukuoka-u.ac.jp/home1/branding/>

福岡大学は、人間の出生前から老年期までに遭遇するさまざまな健康の課題を解決し、人々の福(ハッピー)を奏でることにより、健康持続社会の実現を目指すプロジェクト、通称「福奏プロジェクト」に取り組んでいます。

総合大学の長を生かして、人文学部、医学部、薬学部、スポーツ科学部等が連携し、①妊娠・出産及び子育て期の子どもといる生活の研究、②学童期・思春期の学校適応支援・活力ある人間形成の研究、③中高年期の社会活動支援・活力ある高齢者の研究を行っています。

このプロジェクトは、文部科学省「平成29年度私立大学研究ブランディング事業(世界展開型)」に九州の大学で唯一採択されました。

# 大学病院

## 福岡大学病院

<http://www.hop.fukuoka-u.ac.jp/index.html>



昭和47年の医学部設置に伴い、昭和48年8月に開院しました。平成23年1月に新館を開院した現在は、福岡市営地下鉄七隈線「福大前駅」との直結、福岡都市高速環状線の開通によりアクセスが格段に向上しました。

診療面では、脳卒中センターなど多くのセンターが存在し、23の診療科が垣根を超えた診療体制でチーム医療を行っています。また、総合診療部、救命救急センターと各診療科が連携し、地域の医療機関や救急隊からの依頼を24時間365日断らない医療を目指し、地域に優しい救急医療を提供しています。

### 病院の 基本理念

### あたたかい 医療

- 高度先進医療の指導的病院
- 健康のための情報発信基地
- 地域に開かれた中核的医療センター
- 社会に必要とされる優れた医療人の育成
- 社会のニーズに応える患者中心の医療の提供

### 外来診療案内

#### ■ 受付時間

月～金曜 初診 8時30分～12時  
再診 8時30分～15時  
土 曜 初診・再診 8時30分～11時

#### ■ 休診日

日曜・祝日（振替休日を含む）  
盆 休（8月15日）  
年末年始（12月29日～1月3日）

### 特定機能病院

本病院は病院の機能を第三者の立場で評価を行う、公益財団法人日本医療機能評価機構の「病院機能評価(3rdG:Ver.1.0)」更新審査を受け、平成26年11月22日付で認定が継続されました。

今後も、福岡大学病院の基本理念「あたたかい医療」に基づき、患者さんのニーズを踏まえながら最も適切で質の高い医療を効率的に提供できるよう、充実・向上に努めていきます。

#### 診療各科

腫瘍・血液・感染症内科	内分泌・糖尿病内科	循環器内科
消化器内科	呼吸器内科	腎臓・膠原病内科
神経内科・健康管理科	精神神経科	小児科
消化器外科	呼吸器・乳腺内分泌・小児外科	整形外科
形成外科	脳神経外科	心臓血管外科
皮膚科	泌尿器科	産婦人科
眼科	耳鼻咽喉科	放射線科
麻酔科	歯科口腔外科	

#### 診療各部

病理部	臨床検査部	内視鏡部
輸血部	放射線部第一	放射線部第二
手術部	栄養部	リハビリテーション部
血液浄化療法センター	医療情報部	救命救急センター
総合周産期母子医療センター	総合診療部	東洋医学診療部

#### 診療支援部門

看護部	薬剤部	臨床研究支援センター
卒後臨床研修センター	臨床工学センター	地域医療連携センター
医療安全管理部	感染制御部	腫瘍センター
臓器移植医療センター	再生医療センター	認知症疾患医療センター
周術期管理センター	遺伝医療室	褥瘡対策室

学んで  
予防!

### 《福大病院 健康セミナー》を開催しています。

城南区および早良区の医師会、区役所、保健所等の協力を得て「学んで予防!《福大病院 健康セミナー》」を年6回開催しています。

このセミナーは、「病気になるようにするには、どういう心掛けが必要か?」「病気かな?と思ったらどうしたらいいか?」「日常生活を健康に過ごすためにはどうしたらいいか?」等、地域にお住まいの方が日頃から気になっている病気のことについて毎回テーマを変えながら開催しています。

講師は、当院の医療スタッフと、城南区および早良区医師会に所属する医師がコラボレーションしています。

- 〔場 所〕 福大メディカルホール  
(地下鉄七隈線「福大前駅」と直結)
  - 〔開催日〕 平成30年度  
5月24日、7月19日、9月20日、11月15日、  
2月6日、3月14日
  - 〔時 間〕 14時30分～16時
- ※詳細は福岡大学病院の公式ウェブサイトをご覧ください。





本病院は、昭和60年7月に開院し、平成25年5月に新病院となりました。

新病院は、地上9階建て、免震構造を有し、許可病床数310床です。全館にわたってバリアフリーとユニバーサルデザインを実践しています。また、建物周辺の庭園やバルコニーに積極的に植栽を施したヒーリングガーデンと立体駐車場を併設しています。

病院の特徴としては、「地域医療支援病院」の承認を得ており、救急医療の充実(ER)、集中治療(ICU対応、SCU、HCU)の充実を進め地域医療に取り組んでいます。また、「地域がん診療病院」の指定も受けています。当院が位置する筑紫医療圏のがん患者への対応にも取り組んでいます。その他にも「在宅支援室」を設置し、在宅医療支援の充実を図っています。

本病院は、地域に密着した大学病院として、地域医療を支援するとともに大学病院としての高機能、高次医療を提供して行きます。

### 外来診療案内

#### ■ 診療時間

月～金曜 9時～16時40分  
土曜 9時～12時25分

#### ■ 受付時間

月～金曜 8時40分～11時  
土曜 8時40分～10時30分

#### ■ 休診日

日曜・祝日(振替休日を含む)  
盆 休(8月15日)  
年末年始(12月29日～1月3日)

#### 診療各科

循環器内科	内分泌・糖尿病内科	呼吸器内科	消化器内科
小児科	外科	整形外科	脳神経外科
泌尿器科	眼科	耳鼻いんこう科	放射線科
救急科	麻酔科		

#### 診療科 その他

内科	消化器外科	呼吸器外科	リウマチ科
皮膚科	リハビリテーション科	病理診断科	

#### 診療各 部他

病理部	臨床検査部	内視鏡部	放射線部
手術部	材料部	栄養部	リハビリテーション部
医療情報部	炎症性腸疾患センター	脳卒中センター	緩和ケアセンター
看護部	薬剤部	臨床研究支援センター	臨床工学センター
地域医療支援センター	医療安全管理部	事務部	

### 地域医療支援病院

厚生労働大臣の定める者の開設する病院であって、地域における医療の確保のために必要な支援に関する要件に該当するもので、所在地の都道府県知事の承認を得た病院です。

#### 支援に 関する 要件

1. 他の病院または診療所から紹介された患者に対し医療を提供する。
2. 当該病院の建物、設備機器を開放し、診療、研究または研修のために共同利用させること。
3. 救急医療を提供していること。
4. 地域の医療従事者の資質向上を図るための研修を行うこと。

### 救急医療の充実(ER)

本病院では欧米型ERシステムの救急医療を行っています。救急指導医・専門医の下、各診療科当番医師による24時間体制を執り、二次救急患者の対応に当たっています。重症例では、救急科と循環器内科、外科、脳神経外科、小児科が中心となって対応し、また緊急時には、当院の初期臨床研修医全てが対応するシステムも採用しています。平成29年4月から平成30年3月までの救急車搬送件数は3,414件で、脳血管障害、虚血性心疾患、ショック、重症外傷、急性薬物中毒症例等が含まれます。担当する筑紫地区の人口は43万人を超えており、筑紫医療圏(筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川町)の搬送件数は、平成30年3月現在で、3,170件となっています。

### 地域がん診療病院

平成26年1月に厚生労働省が通知した「がん診療連携拠点病院等の整備に関する指針」によると、「がん診療連携拠点病院」にあつては2次医療圏に1カ所、「地域がん診療病院」にあつては隣接する2次医療圏の「がん診療連携拠点病院」との連携を前提にグループとして指定することにより2次医療圏に1カ所整備することとされており、当院は「がん診療連携拠点病院」が存在しない空白医療圏を埋める形での指定となっています。これは、国が定めた「がん対策推進基本計画」に基づく、「全国どこでも質の高いがん医療を提供することができることを目的とする」という趣旨に沿ったものです。



平成30年4月に福岡市医師会成人病センターを事業譲受し、開院しました。本院では、「地域に信頼される医療の提供」を基本理念とし、地域の医療機関からの紹介患者を速やかに受け入れ、大学病院の特徴を生かして福岡大学病院等の高度専門医療機関との密な連携により、地域医療と高度医療とを融合させた医療を提供していきます。また、新たに小児入院医療を整備することで、より一層、地域医療の貢献に努めていきます。

外来診療案内

■ 受付時間

月～金曜	初診	8時30分～11時
	再診	9時～17時
土曜	初診	8時30分～11時
	再診	9時～11時

■ 休診日

日曜・祝日(振替休日を含む)

診療各科

内科	糖尿病・代謝・内分泌内科	血液リウマチ科
循環器内科	呼吸器内科	放射線科
消化器内科	感染症内科	小児科



福岡大学博多駅クリニックは、平成28年4月21日に博多駅直結の「KITTE博多」8階に開院しました。

クリニックは、一般診療と女性診療のユニットに分かれており、一般診療ユニットでは、内科、循環器内科、総合診療科、脳神経外科などを中心とした一般診療や健康診断の他、各種専門外来(渡航(ワクチン)外来、育毛外来、セカンドオピニオン等)、女性診療ユニットでは、美容医療や乳腺・婦人科・泌尿器・肛門科・精神科等の疾患を、女性専用スペースにおいて、女性スタッフが中心となって診療を行います。内科などの一般診療では紹介状や予約がなくても受診できます。

また、20人収容可能な運動療法室は、小セミナーや研究会の開催会場としても活用しています。

外来診療案内

■ 診療時間

月～金曜	10時～18時
水、木曜	10時～19時 (18時以降は内科のみ)
土曜	10時～17時

■ 休診日

日曜・祝日(振替休日を含む)  
盆 休(8月15日)  
年末年始(12月29日～1月3日)

一般診療	内科	消化器内科	皮膚科(一般・育毛)	感染症内科(渡航外来)
	循環器内科	脳神経外科	泌尿器科	セカンドオピニオン (腫瘍血液内科、 心臓血管外科)
	総合診療科	形成外科	精神神経科	
	呼吸器内科	整形外科	小児科(小児発育)	
診療女性	美容皮膚科・美容外科	産婦人科	消化器外科(肛門科)	精神神経科
	乳腺外科	泌尿器科		
接種 健康相談	インフルエンザワクチン	海外渡航向けワクチン	企業健診	子宮がん検診
	肺炎球菌ワクチン	個人健診(雇用健診、よがドック等)	乳がん検診	

## 地域貢献

地域の方々との交流を通じて、大学の「教育」「研究」「医療」活動の成果を地域に還元する。

### 防犯ボランティア「ななくま元気にするっ隊」

警察庁の防犯ボランティア支援事業において、本学がそのモデル大学に指定されたことから、学生主体の防犯ボランティア団体「ななくま元気にするっ隊」を結成。近隣校区で行われている夜間パトロールに参加するなど、地域の方々とも交流しながら活動しています。



### 東日本復興夏期セミナー・九州地域災害ボランティア

平成23年度から26年度まで、「東日本災害ボランティア」福岡大学派遣隊として被災地の支援を行いました。平成27年度は「東日本復興支援プロジェクト」として、東北の復興へ向けた支援を行い、平成28年度は熊本での災害支援ボランティア活動を行いました。

平成29年度以降は「東日本復興夏期セミナー」として、再び東北の復興支援を行うとともに、熊本地震や九州北部豪雨で被害を受けた地域にも継続して支援を行います。



宮城県での活動



熊本県での活動

### 公開講座「福岡大学市民カレッジ」—子どもから大人まで 生涯現役であるために—

本学の教育・研究・医療を通じて得られた成果を“教育プログラム”として地域の皆さまへ提供し、生涯学習や人生設計に役立てていただけるよう、さまざまな講座(春季・秋季)を開講しています。



生涯現役は頭と身体の健康から(女性のための元気体操教室)



キッズ・スポーツプログラム(キッズ・サッカークラブ)

### 平成30年度春季開講講座

#### 異文化学・教養

ことばの雑学 —言語と異文化—  
ヨーロッパの街と歴史をたどる  
映像にみるヨーロッパ文化【ドイツ語圏】【フランス語圏】

#### からだ・健康・スポーツ

女性のための元気体操教室  
キッズ体操教室  
キッズ・サッカークラブ  
キッズ・バスケットボール教室  
キッズ・バレーボール教室

#### サマースクール・プレカレッジ

化学への招待 —福岡大学一日体験入学—  
体験して学ぶコンピュータ科学【小学生コース】【中学生コース】  
君も未来の研究者だ!身体のおしるしを知らう!心臓編その2

#### キッズ・エコクラブ —環境問題を体験しながら学ぼう!—

水の旅  
水辺の自然探検隊〜親子で楽しむ室見川自然観察会〜

#### リカレント教育

第52回薬学部卒業後教育講座 —わかりやすい薬学基礎研究—

#### 大学開放推進事業 —「福岡大学を知る」シリーズ—

5月:日本にとっての韓国、韓国にとっての日本 —反日と嫌韓の間で—  
7月:未来の日本を担う企業や若者に求められること  
—FU流3次元、4次元、5次元交渉術—  
9月:超解像顕微鏡でのぞくナノの世界 タンパク質の観察が拓く生命科学の未来

※秋季開講講座は8月下旬に案内予定。



## 「地域交流サロン」のご案内

平成27年4月、本学60周年記念館(ヘリオスプラザ)2階に「地域交流サロン」を開設しました。

本学は長期ビジョン「福岡大学ビジョン2014-2023」を策定し、4つの重点項目の1つに、「福岡を中心とする地域の活性化と発展の促進」を位置付けています。これに先駆け、平成26年3月に本学と福岡市は相互に地域社会の発展と人材育成に貢献していくため、広範な分野で連携協力に関する協定を締結しました。これらの具体的な実現に向けて「地域交流サロン」を拠点に、大学・行政・地域が連携して、地域振興や地域課題の解決につながる意見交流会やワークショップ、セミナー等のイベントを開催し、地域社会との連携・交流の輪を広げています。



打ち合わせや意見交換に利用可能なスペースを完備



イベント情報等を集めた地域情報コーナーを設置



地域課題の解決に向けたワークショップやセミナー等の地域交流イベントを開催



## 地域の科学教育啓発推進活動

理学部の教授陣が、子どもたちに科学の楽しさや技術の素晴らしさを伝えて、科学への興味・関心を高めてもらおうと、地域の小中学校や公民館で理科教室をはじめとした理科学イベントを開催しています。さらに、読書の専門家である図書館司書と科学者とが連携し、科学の絵本の読み聞かせと実験工作を組み合わせたプログラムである「理科読」を開発・導入して地域の科学教育を推進しています。



## シロウオ産卵場造成プロジェクト

福岡の春の風物詩として全国的に有名な室見川のシロウオの漁獲量が近年減少していることを憂慮し、毎年2月に福岡市内を流れる室見川で、工学部社会デザイン工学科の学生を中心に構成された「はかたわん海援隊」の学生が漁協関係者や行政職員、地域住民と一緒にシロウオの産卵環境の改善活動を実施しています。川底の砂の中に埋もれて減っているシロウオの産卵場所であるグリ石を掘り起こして産卵環境を復活させています。活動を通して、川の大切さや再生の重要性を地域市民と一緒に考えています。



# 図書館

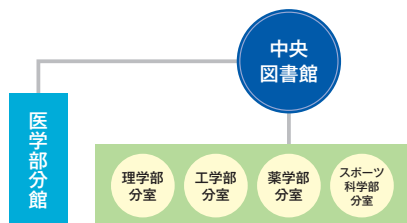
<http://www.lib.fukuoka-u.ac.jp/>

蔵書200万冊。  
充実した資料で学習・研究・情報活動を支援。



本学は創立以来、図書館の充実に努め、約200万冊の蔵書と全分野にわたる豊富な資料を備え、学内外の利用に供しています。また、図書のほか約2万タイトルに及ぶ雑誌や視聴覚資料などについて目録情報をデータベース化し、各種情報を提供する学術情報センターとしての機能も備えています。最新の設備を有し、電子図書館機能の充実をさらに図るとともに利用者にとって親しみやすい図書館を目指しています。

中央図書館はキャンパスの「知の中心」を象徴するにふさわしい外観とともに、内装には黒を基調としたカーペット、木製家具を使用し、自然換気、タスク&アンビエント照明、天井扇等を採用して、利用者が長時間滞在するための、快適な学術的空間を提供しています。



閲覧室

また、図書の閲覧だけでなく、電子情報活用、グループ学習、ディスカッションなど多様なニーズに応える諸室を設けています。さらに、大学院生によるライブラリー・アシスタント(LA)を配置して、自主的な学習を支援する体制を整えています。

1階のライブラリーラウンジは、安らぎを感じる空間となっており、全国紙、外国新聞のほか、九州山口各県の地方紙を閲覧できるコーナーやブラウジングコーナーも設けています。

館内には世界的著名アーティストによるアート作品も設置し、知の空間を演出しています。

### 開館時間

#### ■ 中央図書館

平日 } 8時50分～22時  
土曜 }  
日曜・祝日 } 8時50分～17時

#### ■ 理・工・薬・スポーツ科学部分室

平日 } 8時50分～21時  
土曜 } 8時50分～18時  
日曜・祝日 } —

#### ■ 医学部分館

平日 }  
土曜 } 8時50分～22時  
日曜・祝日 } —



返却カウンターの自由化

貸出を受けた資料は、中央・各分室・分館の全てのカウンターで返却することができます。



取寄せサービス

中央図書館から離れているスポーツ科学部分室および医学部分館を起点として、中央図書館およびほかの分室との相互間で資料の取り寄せ、貸出および複写することができます。



学内資料複写サービス

### 情報検索から貴重なコレクションの閲覧までできる図書館ウェブサイト

図書館ウェブサイトでは、お知らせやイベント情報、利用案内のほか、蔵書検索(OPAC)、国内外の各種学術情報や統計資料などを利用することができるデータベースや電子ジャーナルといった自学自習のための学習サポートコンテンツ、所蔵資料の予約、貸出・予約照会、図書の購入依頼など多様なサービスを提供しています。

また、福岡大学図書館収蔵の貴重なコレクションの一部をデジタル化しており、ウェブサイト上で閲覧することもできます。

中央図書館の施設紹介や、利用方法等を動画でお楽しみいただける「バーチャルツアー」も公開しています。

図書館ウェブサイトは迷わずに求める情報へ到達できるレイアウトで利用者の皆さんをナビゲートします。ぜひご利用ください。



福岡大学図書館ウェブサイト <http://www.lib.fukuoka-u.ac.jp/>

携帯電話、スマートフォンでもアクセスできます。またTwitter(@fu\_lib)によるお知らせ情報の配信も行っています。

# 教育開発支援機構

<http://www.idshe.fukuoka-u.ac.jp>

教育内容、教育方法等の組織的かつ継続的な改善を推進。

教育FD支援室では広く、学内外の教育に関する情報・ニーズを調査し、教育改善に向けた情報や問題の共有化を図るとともに、全学的な教育方法の開発や教員研修等の企画・実施を行い、各部署の教育FDを支援しています。教育学修支援室では、学生の主体的な学びを実現するため、正課外での学びの場の提供や正課授業と密接に関連付けられた学修支援を行っています。教学IR室では、教学上の計画立案や意思決定等に関わるデータを組織的に収集・分析し、報告・提言する業務を行っています。

また、本学の言語教育を含む共通教育全体について、全学教育の視点、あるいは学士課程教育の視点に基づき実施・マネジメントすることを目的として、平成29年12月に共通教育センターと言語教育研究センターを統合した共通教育研究センターを教育開発支援機構の中に設置しました。

共通教育研究センターでは、学生が豊かな個性を生かし、幅広い知識と判断力を持った責任ある社会人となることを目的に、魅力ある共通教育科目(総合教養科目、外国語科目、保健体育科目、単位互換科目)を開講しています。

機構の業務は教職協働によって行われますが、教職員に加え、学生とも自由に教育に関する情報交換や議論を行うための場として教育サロンも設けています。



## 主な活動実績

### 教育FD支援室

- 新任教育職員研修会の実施
- E-labo(エデュケーション・ラボ)の実施 など

### 教育学修支援室

- 「大学から始める『言葉の力』育成プログラム」(前期開講)
- 「言葉の力」育成の手引の作成
- 「福大生のための学習ナビ」の作成 など

### 教育サロン

- 教職員による教育に関する情報交換会の開催
- 学長のサロンタイム など



新任教育職員研修会



「言葉の力」育成プログラム

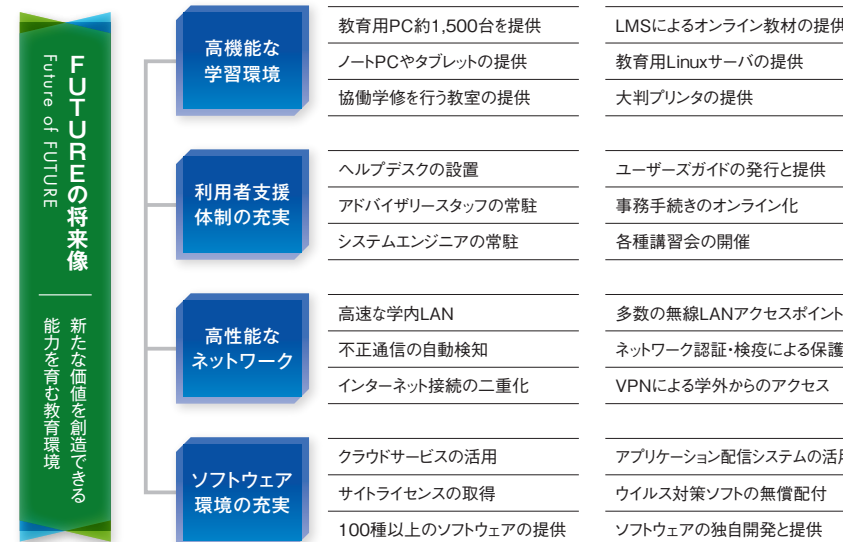
# 情報基盤センター

<https://www.ipc.fukuoka-u.ac.jp/>

ICTを活用しながら新たな価値を創造できる人材育成の環境を提供。

情報基盤センターでは、安全な通信環境と高機能な情報システムを構築し、ICT(情報通信技術)を活用しながら社会に貢献できる人材を育成する環境を提供しています。これらの教育環境はFUTURE(Fukuoka University Telecommunication Utilities for Research and Educationの略称)と称し、教育活動のみならず研究活動を支援する情報システムとして提供しています。高性能な情報システムを提供すると同時にFUTUREの活用を支援する体制や学内外の組織との連携体制を備えながら各種サービスを提供することで、ハードとソフトの両面が充実した教育環境を実現しています。

現在のFUTUREは5世代目の情報システムとして平成27年9月から稼働し、FUTURE5という名称で提供しています。同システムを通じて「多様化する教育・研究の支援」、「社会からの期待に応えることができる人材を育成するための環境」を目指します。その一例として、協働学修教室が挙げられます。本教室では、学生のコミュニケーション能力とICT活用力の向上を図り、ICTを活用しながら学習効果の高い授業を実施できる教育環境を学生や教職員に提供します。本教室で学ぶことで、他者と議論を交わし、ICTを活用しながら自身のアイデアを育み実現に結びつけることに挑戦することで、実社会において不可欠な能力を身に付ける訓練も可能です。最終的には、「新たな価値を創造できる能力」を学生が備え、社会に貢献できる人材を育成する教育環境となることを目指します。



## 入学センター

<http://nyushi.fukuoka-u.ac.jp/>

多様なニーズに応じた入学試験を実施。

本学のアドミッション・ポリシーの下、移り変わる社会の流れを捉えた入試制度を検討し、公正かつ正確な入試の実施に努めています。

また、各地の進学説明会や高等学校等への訪問活動を通じて、高校生や教員、保護者、一般の方へ入試情報を提供しています。オープンキャンパスでは、本学をより理解していただけるプログラムを企画し、全学を挙げて毎年開催しています。



## 教職課程教育センター

<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu859/kyosyoku/>

教員、学芸員、社会教育主事を目指す学生を支援。

教職課程教育センターでは、中学・高等学校および養護の教員を目指す学生に対して、教員に求められる資質や能力を身に付けるためのプログラムを提供しており、卒業時に教員免許状を取得できるようにサポートしています。また、学芸員や社会教育主事の資格取得を希望する学生の支援も行っています。

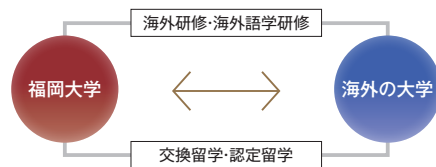


## 国際センター

<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu809/home1/a0800000.htm>

学生の海外留学を促進し、教育研究の国際化を積極的にサポート。

国際センターでは、留学生との交流活動や留学に関心がある学生に対するアドバイス、諸手続きなど留学に関する情報の提供やサポートを行っています。※認定留学については各学部事務室へご相談ください。



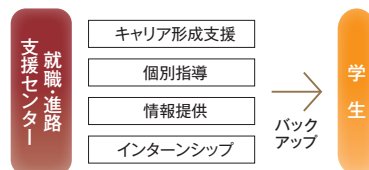
## 就職・進路支援センター

<http://www.career.fukuoka-u.ac.jp/>

より良い進路・職業選択をバックアップ。学生の夢を切り拓く力になる。

就職・進路についての意識の向上を目指して、就職活動に役立つ能力を育成するキャリア形成支援、全学年を対象にした学生一人一人への個別指導、インターネットをフルに活用した情報提供 (FUポータル、就職・進路支援センターウェブサイト、Facebook、Twitter)を行っています。

また、学生の職業観を高めていくために、インターンシップ(国内・海外)を推進しており、特に1年次からの取り組みを推奨しています。

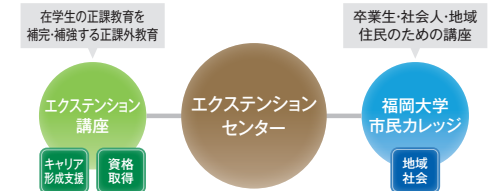


## エクステンションセンター

<http://webex.fukuoka-u.ac.jp>

学部教育にプラスアルファの各種の資格取得、採用試験対策講座で「夢をカタチに！」する支援を行う。

在学生には、学部教育に加えて、理論と実務を結び付ける教育支援を行うとともに、地域の社会人と共に学ぶ共創型学習プログラムを提供し、問題発見・解決力、コミュニケーション力を磨き、社会(就職)へのスムーズな移行ができるようサポートをしています。



## アニマルセンター

アニマルセンターはマウス、ラット、ブタなど約10種類におよぶ実験動物の飼育室(約30室)のほか手術室、実験室、組織培養室を備える本格的な動物実験施設です。医学部を中心に多くの理系学部の研究者が種々の研究および学生教育に活発に使用しています。最近では遺伝子の機能解析およびそれに関連した研究のため遺伝子組換えマウスおよびラットを使用した実験が多く行われています。

## 健康管理センター

健康管理センターでは、毎年全学生を対象とした定期健康診断を実施しています。実施後は、就職活動等に必要な健康診断書の発行を行っています。

また、一般的な健康相談、禁煙相談、正課中に発生した疾病等の応急処置や医療機関への紹介、および健康教育としてスリム教室(肥満対策)を開催し将来への生活習慣病予防も行っています。

## ヒューマンディベロップメントセンター

<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm>

—— HDセンター：学生相談室 ——

ヒューマンディベロップメントセンターでは、人間関係や学業のこと、心身の健康、将来のことなど学生生活を送っていく上で出合うさまざまな悩みや不安について、専門のカウンセラー(臨床心理士)に相談できます。相談は無料で、相談内容の秘密は守られます。コミュニケーションに関するセミナーや、仲間づくりのグループなども実施しています。また、静かに休憩できるフリースペースもあります。

## RIセンター

RIセンターは、放射性同位元素(Radio Isotope)等を利用する教育研究施設で、大学内にはRIセンター実験施設と医学部RI施設があります。両施設共に厳格に管理運営がなされており、優れた放射線測定用機器を備えた測定室、実験室、動物飼育室等を設置しています。また、RI取扱者には定期的に教育訓練・健康診断を実施しています。それぞれの施設では、教育実習だけではなく、RIを利用した最先端の研究が行われています。

## 環境保全センター

環境保全センターは、本学の教育研究活動および医療活動に伴う環境負荷の低減に努め、学生・職員および市民の生活環境の安全を図り、環境保全の向上に寄与するため設置しています。水質管理、廃棄物管理、地球温暖化対策等の関連業務にあたっています。

# 福大生ステップアッププログラム

Fukuoka University students Step up Program

<http://www.fsp.fukuoka-u.ac.jp/>

本学は、「建学の精神」と「教育研究の理念」に基づいた全人教育、すなわち、専門性を有する教養人(人らしき人)の育成を重視した教育を進めています。その一環として、次の3点の向上を目的とした福大生ステップアッププログラム(FSP)を実施しています。

平成30年度から、学生にさらなる人間的成長の機会を提供するため、新たに2つのプログラムを開始しました。



FSPマスコットキャラクター「ステッピー」

STEP

## 3 「社会」へのステップ

職業観、社会常識、マナーの向上

STEP

## 2 「豊かな人間性」へのステップ

志、意欲、独創性、人間性、倫理観、異文化理解の向上

STEP

## 1 「学び」へのステップ

大学で学ぶ上で必要な基礎的技術の向上

STEP

## 1 「学び」へのステップ

大学で学ぶ上で必要な基礎的技術の向上

- これでわかる『福大生のための学習ナビ』
- 福大生のための図書館活用プログラム
- エンカレッジセミナー《未来ノート》でになりたい自分になる!
- 大学から始める『言葉の力』育成プログラム



『福大生のための学習ナビ』



福大生のための図書館活用プログラム(選書ツアー)



エンカレッジセミナー《未来ノート》でになりたい自分になる!

STEP

2

## 「豊かな人間性」へのステップ

志、意欲、独創性、人間性、倫理観、異文化理解の向上

- 学生チャレンジプロジェクト
- アジア圏協定校との学生交流セミナー
- 今を生きる教養講演会
- 野外教育キャンプ
- 七隈で学ぶ環境学～入門編～
- 福大生が学ぶ博多祇園山笠の伝統と歴史
- 東日本復興夏期セミナー

### 平成30年度からの新規プログラム



#### 野外教育キャンプ

自然の美しさ、大切さを学ぶとともに、集団行動を通じて、チームワーク力、コミュニケーション力を育みます。雄大な自然の中で、学部・学科の垣根を越えた仲間たちと絆を深めます。



#### 福大生が学ぶ博多祇園山笠の伝統と歴史

福岡を代表する祭りの一つで、平成28年に「ユネスコ無形文化遺産」に登録された博多祇園山笠。この博多祇園山笠に実際に参加し、祭りの伝統や歴史を学ぶとともに、チームワーク、コミュニケーション力、礼儀作法など実社会で役立つ人間力を磨きます。

STEP

3

## 「社会」へのステップ

職業観、社会常識、マナーの向上

- 先輩と語る — 大学と社会 —



先輩と語る — 大学と社会 — (経済学部)



先輩と語る — 大学と社会 — (医学部医学科)

# 奨学制度・学生保険

本学で学ぶ学生たちが、生活上の不安を感じることがないように福岡大学独自の奨学金や学生保険を整備。悔いを残さないよう学生生活をトータルにサポートします。

## 奨学制度

### 入学前予約型給付奨学金

一般入試出願予定者を対象(家計基準あり)に、入学後の奨学金給付を出願前に確約する制度です。11月から12月上旬に申請を受け付け、審査のうえ、12月下旬に採用候補者を決定します。採用候補者は一般入試に合格し、入学後に所定の手続きを行うことで、正式に採用されます。

#### ■ 学部1年次に支給

<p>ななくま もり <b>七隈の杜 給付奨学金</b></p>	<p>ななくま もり <b>七隈の杜 第3子以降 特別給付奨学金</b></p>
<p>支給形態 給付(返済不要)</p> <p>支給額 文系学部 30万円 (商二部は15万円) 理系学部 50万円 【成績優秀者は特別増額あり】</p> <p>採用候補者数 約2,000人</p>	<p>支給形態 給付(返済不要)</p> <p>支給額 全学部 30万円</p> <p>採用候補者数 約1,000人</p>

併給可

### 福岡大学特待生

#### ■ 学部2年次以上対象

前年度の学業成績ならびに品行が特に優秀な学生を「特待生」として表彰する制度です。特待生は全学部から約200人が選ばれ、奨学金30万円が授与されます。

### 福岡大学独自の奨学金(学部)

奨学金の名称	支給形態	趣旨および資格	対象	採用期間	給付・貸与額	返還義務	平成29年度採用実績
福岡大学給費奨学金(一号)	給付	人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障を来す恐れのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする制度	2年次以上	1年間	文系:30万円 (商二部は15万円) 理系:50万円	なし	202人
福岡大学給費奨学金(二号)	給付	課外教育活動において、極めて特異な能力を有し、かつ優れた業績を示した者を育成する制度	全学年	1年間	60万円以内。 活動・成績内容により決定。	なし	8人
福岡大学学生サポート募金給費奨学金	給付	修学の意欲および能力があるにもかかわらず、経済的に修学困難な学生を援助する制度	全学年	1年間	30万円	なし	8人
福岡大学利子補給奨学金	給付	本学が提携する金融機関の教育ローンを利用している者に在籍期間中の利子相当額の全部または一部を給付する制度	全学年	1年間	医学部医学科を除く学部学科:5万円以内。 医学部医学科:10万円以内。	なし	17人
福岡大学有信会奨学金(貸与)	貸与(無利子)	卒業見込みで原級歴のない最終学年次生であり、卒業単位まで20単位未満の者	最終年次	1年間	50万円	卒業後10年以内で返還	6人
福岡大学奨学金(貸与)	貸与(無利子)	人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障を来す恐れのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする制度	全学年	1年間	64万円を限度	卒業後10年以内で返還	115人
福岡大学奨学金(緊急貸与)	貸与(無利子)	家計支持者の失職、死亡その他の理由により家計が急変し、修学が困難になった場合の、緊急の貸与制度	全学年	1年間	64万円を限度	卒業後10年以内で返還	0人

## 福岡大学独自の奨学金（大学院）

奨学金の名称	支給形態	趣旨および資格	対象	採用期間	給付・貸与額	返還義務	平成29年度採用実績
福岡大学奨学金（貸与）	貸与（無利子）	人物・学業成績ともに優秀でありながら、経済的な理由で学業継続に支障を来す恐れのある学生を援助し、優れた人材育成を目的とする制度	大学院全課程全学年	1年間（毎年出願可）	38万円	卒業後10年以内で返還	4人
福岡大学大学院博士課程後期並びに医学研究科及び薬学研究科の博士課程給費奨学金	給付	優秀で経済的に就学困難な学生の修学意欲を向上させることを目的とする制度	博士課程後期博士課程（医・薬）全学年	1年間	文系:40万円 理学・工学:56万円 医学・薬学:56万円 または52万円 スポーツ健康科学:51万円	なし	5人
福岡大学法科大学院特待生奨学金	給付	成績優秀な者を特待生または準特待生として選考し、奨学金を支給する制度	法科大学院全学年	1年間	特待生:年額60万円（授業料相当額） 準特待生:年額30万円	なし	特待生9人 準特待生2人
高田法曹育成基金奨学金	給付	社会正義を実現し、社会の発展に寄与する優秀な法曹を育成するために、本学名誉教授の高田桂一氏より寄付を賜り創設された奨学金制度	本学法学部を卒業し、本学法科大学院に入学した者	原則として3年間または2年間	月額6万円	なし	2人

## 福岡大学独自の奨学金（外国人留学生）

奨学金の名称	支給形態	趣旨および資格	対象	採用期間	給付・貸与額	返還義務	平成29年度採用実績
福岡大学私費外国人留学生奨学金（第一種）	給付	学業成績優秀であり経済的負担力に乏しい者に対し、優秀な留学生の育成と勉学意欲の高揚を図ることを目的とする制度。私費外国人留学生で在留資格「留学」を有する者。	学部全学年	1年間（毎年出願可）	月額2万円	なし	21人
福岡大学アジア特定地域学部留学生奨学金	給付	東アジアを除くアジア諸国出身の留学生を受け入れ、将来日本との関わりにおいて国際的に貢献しうる有為な人材と認められる者の育成を図ることを目的とする制度。私費外国人留学生で在留資格「留学」を有する者。	学部全学年	1年間（毎年出願可）	月額2万円	なし	1人
福岡大学大学院私費外国人留学生奨学金	給付	学業成績優秀であり経済的負担力に乏しい者に対し、優秀な留学生の育成と勉学意欲の高揚を図ることを目的とする制度	修士課程・博士課程前期（M）2年次 博士課程後期・博士課程（D）全学年	1年間（毎年出願可）	M:月額4万円 D:月額6.5万円	なし	12人

## 国・地方自治体、民間奨学団体による奨学金

奨学金の名称	支給形態	趣旨および資格	対象	採用期間	給付・貸与額	返還義務
日本学生支援機構「第一種奨学金」	貸与（無利子）	特に優れた学生で経済的理由により著しく修学に困難がある者。別に定める貸与基準（学力・家計・人物・健康）を満たすことが必要。	全学年	標準修業年限	(学部)月額2万円から6万4千円まで、通学形態や家計基準によって選択できる金額が異なります。	あり
日本学生支援機構「第二種奨学金」	貸与（有利子）	優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者。別に定める貸与基準（第一種奨学金より緩やか）を満たすことが必要。	全学年	標準修業年限	(学部)月額2万円から12万円まで、選択できる金額が異なります。月額12万円を選択した場合に限り、医学部医学科は月額4万円、薬学部は月額2万円の増額可。	あり
各種育英会・奨学団体奨学金（給費・貸与）	地方自治体や民間育英団体による各種奨学制度が多くあります。詳しくは学生課にお問い合わせください。					

## 学 生 保 険

### 学生健康保険互助組合

学生の傷病（歯科を除く）による経済的負担を軽減し、健康の維持・増進を図ることを目的とした互助制度です。

### 学研災付帯賠償責任保険（任意加入）

国内外において、正課の授業や学校行事、ボランティアやクラブ等の課外活動、およびその往復中、学生が他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償します。

### 学生教育研究災害傷害保険

教育研究活動中（正課・学校行事・課外活動中など、ただし通学中は除く）の災害に対する全国規模の補償制度です。本学の全学生を対象とし、保険料は大学が全額負担しています。

### 学生総合補償制度（任意加入）

学生の万一の事故による死亡・後遺障害、入院や扶養者の万一のときの学資費用、個人・借家人賠償責任など、学内、学外を問わず24時間、総合的に学生生活を補償する保険です。自転車による賠償事故やアルバイト、インターンシップ中の賠償事故も補償対象になります。

Campus life



充実した施設が、学生の学問への前向きな気持ちと快適な学生生活をサポートします。

学部・学科の整備と充実、教育システムの刷新等とともに、学生を受け入れる器としての施設の整備も大学の大きなテーマです。本学では、教室やスポーツ施設、研究施設のみならず、ラウンジやレストランなどの憩いと語らいの場や、また、宿泊研修施設等も整備し、学生の学問への前向きな気持ちと快適な学生生活をサポートしています。

教育研究施設

■ 文系センター棟



高層棟には文系学部の教員研究室、共同研究室、資料室、会議室、情報基盤センター、研究推進部があります。また、1階には学生の集いの場であるプラザ50があり、16階にはレストランがあります。低層棟には教務課、人文・法・経済の各学部事務室、共通教育研究センター、入学センター、国際会議室があります。

■ A棟



創立60周年記念事業として建設。地下2階・地上8階建て、延べ床面積12,050㎡。大小合わせて56教室、約5,500人を収容。ロビー・ラウンジなどパブリックスペースも十分に確保し、開放的で豊かな空間をつくっています。

■ 2号館（創立75周年記念商学部棟）



創立75周年記念事業の一環として建設。地下1階、地上9階建て。講義室、ゼミ室、情報処理教室の他、商学部教員の研究室、商学部事務室、会議室などがあります。

■ 4号館（工学部棟）



平成30年2月に完成。地下1階・地上6階建て。実験室や研究室の他、文理融合のイノベーション拠点「ものづくりセンター」等があります。



■ 総合体育館



福岡大学スポーツゾーンの中核施設として平成29年2月に完成。空調設備を備えた専用練習場(8競技)やトレーニングルーム等があり、学生の保健体育や専門スポーツの授業、課外活動等に使用する総合体育館です。さらに、スポーツ大会の開催や災害時には避難所の役割も担い、本学と地域社会の連携拠点になることを目指します。

■ 陸上競技場



国内の大学ではトップクラスの競技場。トラックは全天候型で1周400mの8レーン。砲丸投げ、やり投げ、ハンマー投げ、円盤投げ、走り高跳び、三段跳び、棒高跳びの施設、写真判定室や夜間照明、1,036席の屋根付き観客席などを備えています。

■ 室内プール



■ 野球場



平成25年12月完成の野球場(福岡市西区)は、両翼100m、中堅122mで全面に人工芝が敷かれています。132人収容のスタンド、照明灯6基や屋根付きのブルベン(6人用)を完備しています。

■ ラグビー場



■ 第二記念会堂



3,600㎡のメインフロアと約3,000人収容の観客席を設置しています。毎年、入学式と卒業式が行われています。

■ 60周年記念館



愛称「ヘリオスプラザ」。地下1階・地上6階、延べ床面積7,057㎡を有する石と木とガラスの調和した美しい建物。書店(ヘリオス文庫)、情報プラザ、学生情報センター(ナジック)、ホール、音楽練習室、展示ギャラリーなどを備えた学生の憩いと語らいの場となっています。

■ 学術会館



■ 有朋会館



■ オリオンホール



研修・宿泊施設

■ セミナーハウス(福岡市中央区六本松)



■ やまなみ荘(大分県玖珠郡九重町)



### 学生数

平成 30 年 5 月 1 日現在  
( ) は女子数 (内数)

#### ◆学部

学部	入学定員	収容定員	在籍学生数
人文学部	605	2,420	2,484 (1,764)
法学部	630	2,520	2,734 (1,073)
経済学部	660	2,640	2,784 (755)
商学部	665	2,660	2,851 (1,274)
商学部第二部	165	660	685 (155)
理学部	250	1,000	1,018 (267)
工学部	700	2,800	2,881 (361)
医学部	220	1,100	1,126 (673)
薬学部	230	1,380	1,479 (1,007)
スポーツ科学部	295	1,180	1,256 (371)
合計	4,420	18,360	19,298 (7,700)

#### ◆大学院

研究科	修士課程・博士課程前期			博士課程後期・博士課程			在籍学生数
	入学定員	収容定員	在籍学生数	入学定員	収容定員	在籍学生数	
人文科学研究科	51	102	63 (39)	21	63	15 (9)	78 (48)
法学研究科	12	24	25 (9)	3	9	6 (2)	31 (11)
経済学研究科	10	20	13 (9)	5	15	2 (1)	15 (10)
商学研究科	15	30	25 (13)	5	15	6 (3)	31 (16)
理学研究科	53	106	76 (29)	8	24	5 (3)	81 (32)
工学研究科	60	120	143 (20)	8	24	12 (2)	155 (22)
医学研究科	6	12	16 (15)	30	120	118 (30)	134 (45)
薬学研究科	5	10	3 (0)	6	24	24 (7)	27 (7)
スポーツ健康科学研究科	12	24	21 (6)	4	12	11 (5)	32 (11)
計	224	448	385 (140)	90	306	199 (62)	584 (202)
研究科	専門職学位課程						在籍学生数
法曹実務研究科	20	60	24 (10)	大学院合計			608 (212)

学生数総計 **19,906** (7,912)

### 入学試験状況

平成 30 年 5 月 1 日現在

#### ◆学部

学部	学科	志願者数	入学者数
人文	文 化	1,130	101
	歴 史	1,093	80
	日 本 語 日 本 文	949	80
	教 育 ・ 臨 床 心 理	1,615	117
	英 語	1,520	107
	ド イ ツ 語	440	50
	フ ラ ン ス 語	475	58
法	東アジア地域言語	757	65
	計	7,979	658
	法 律	3,767	442
経済	経 営 法	2,032	204
	計	5,799	646
	経 済	5,513	504
商	産 業 経 済	1,481	215
	計	6,994	719
	商	3,534	257
商二	経 営	2,514	252
	貿 易	2,241	181
	計	8,289	690
理	応 用 数 学	1,048	65
	物 理 科	809	56
	化 学	774	64
	地 球 圏 科	695	69
	計	3,326	254
	機 械 工	1,493	107
	電 気 工	1,194	112
工	電 子 情 報 工	2,558	134
	化 学 シ ス テ ム 工	1,043	106
	社 会 デ ザ イ ン 工	1,152	109
	建 築	1,723	111
	計	9,163	679
医	医	3,932	111
	看 護	1,516	109
	計	5,448	220
薬	薬	2,893	231
	ス ポ ー ツ 科	1,103	226
	健 康 運 動 科	398	70
計	1,501	296	
学部合計		52,081	4,565

※志願者数・入学者数は、一般入試、推薦入試、A O 入試、センタープラス型入試、大学入試センター試験利用入試、社会人入試、帰国子女入試、学部留学生入試を含めた総数。

#### ◆大学院 (博士課程前期・修士課程)

研究科	志願者数	入学者数
人 文 科 学	69	28
法 学	12	11
経 済 学	8	3
商 学	23	12
理 学	56	47
工 学	81	64
医 学	11	9
薬 学	2	2
ス ポ ー ツ 健 康 科 学	12	10
計	274	186

#### ◆大学院 (博士課程後期・博士課程)

研究科	志願者数	入学者数
人 文 科 学	4	3
法 学	1	1
経 済 学	1	1
商 学	1	0
理 学	1	1
工 学	5	5
医 学	32	32
薬 学	11	11
ス ポ ー ツ 健 康 科 学	2	2
計	58	56

#### ◆法科大学院 (専門職学位課程)

研究科	志願者数	入学者数
法 曹 実 務	30	12

大学院合計 **362** **254**

※秋季および春季入学試験の一般入試、社会人入試、外国人留学生入試、推薦入試および法科大学院入試の総数。

#### 出身県別入学状況 (学部) 平成 30 年 5 月 1 日現在



# 卒業生総数

平成30年3月31日現在

## ◆学部

学部	平成29年度	累計
人文学部	546	16,662
法学部	583	43,663
経済学部	619	46,283
商学部	640	52,468
商学部第二部	123	13,900
理学部	231	8,831
工学部	600	34,463
医学部	204	5,024
薬学部	204	10,966
スポーツ科学部 (含む旧体育学部)	292	11,081
合計	4,042	243,341

## ◆大学院

研究科	修士課程・博士課程前期		博士課程後期・博士課程	
	平成29年度	累計	平成29年度	累計
人文科学研究科	32	854	3	181
法学研究科	5	410	0	51
経済学研究科	10	686	2	98
商学研究科	11	617	2	110
理学研究科	29	1,197	2	77
工学研究科	61	1,764	3	46
医学研究科	1	19	27	775
薬学研究科	4	812	2	110
スポーツ健康科学研究科 (含む旧体育学研究科)	12	386	6	36
計	165	6,745	47	1,484
研究科	専門職学位課程		大学院合計	
	平成29年度	累計	平成29年度	累計
法曹実務研究科	6	165	218	8,394

## ◆旧専門学校等卒業生数

専攻科	60
専門学校	6,804
短期大学部	3,468

卒業生総数	
平成29年度	累計
<b>4,260</b>	<b>262,067</b>

# 博士の学位授与数

平成30年3月31日現在

	平成29年度	累計
課程博士	45	1,048
論文博士	7	681
法務博士(専門職)	6	165
合計	58	1,894

# 卒業・修了後の進路

平成30年5月1日現在

## ◆学部

学部	進学	就職	臨床研修医	その他	計
人文学部	24	430	—	92	546
法学部	10	463	—	110	583
経済学部	1	525	—	93	619
商学部	1	538	—	101	640
商学部第二部	2	89	—	32	123
理学部	46	165	—	20	231
工学部	74	505	—	21	600
医学部	0	0	100	0	100
医学部 看護学科	2	98	—	4	104
薬学部	8	168	—	28	204
スポーツ科学部	10	245	—	37	292
合計	178	3,226	100	538	4,042

## ◆大学院

研究科	修士課程・博士課程前期				博士課程後期・博士課程			
	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計
人文科学研究科	1	22	9	32	0	1	2	3
法学研究科	0	4	1	5	0	0	0	0
経済学研究科	1	4	5	10	0	1	1	2
商学研究科	0	9	2	11	0	1	1	2
理学研究科	1	24	4	29	0	2	0	2
工学研究科	1	59	1	61	0	3	0	3
医学研究科	0	1	0	1	0	23	4	27
薬学研究科	0	4	0	4	0	1	1	2
スポーツ健康科学研究科	0	10	2	12	0	6	0	6
計	4	137	24	165	0	38	9	47
研究科	専門職学位課程				大学院合計			
	進学	就職	その他	計	進学	就職	その他	計
法曹実務研究科	0	0	6	6	4	175	39	218

※「その他」には、進学・就職準備中の者ならびに公務員・教員採用試験および国家資格試験の準備中である者を含む。

# 就職状況

## 決定状況

平成 29 年度の全国大卒求人倍率は、1.78 倍（リクルートワークス研究所調べ）となっており、企業の採用意欲が高い状況が続いています。本学に寄せられた求人は 6,262 件、来学企業件数は 1,572 社でした。

就職決定率は 96.9%（文系：95.6%・理系：99.4%）となり、前年度より 0.1 ポイント上昇しました。

- ①資本金別では、資本金 10 億円以上の企業への決定者が全体の 34.0%となっています。
- ②地域別では、九州地区企業への決定者が 52.2%（うち福岡県内企業への決定者は 41.1%）、関東地区に本社がある企業への決定者は 32.6%となっています。
- ③業種別では、製造業、情報通信業、卸売業・小売業、金融業・保険業への決定者が約半数（48.9%）となり、建設業がそれに続いています。

## 平成 29 年度就職状況

平成 30 年 3 月 31 日現在 （ ）は女子数（内数）

学部	卒業生数 (人)	就職希望者数 (人)	就職決定者数 (人)	就職率 (%)			求人数 (件)	進学者数	
				男子	女子	全体		大学院	大学
人文学部	546 (403)	450 (343)	430 (327)	96.3	95.3	95.6	4,234	22 (16)	2 (2)
法学部	583 (202)	488 (172)	463 (163)	94.9	94.8	94.9	4,195	10 (4)	—
経済学部	619 (207)	539 (184)	525 (182)	96.6	98.9	97.4	4,213	—	1 (1)
商学部	640 (300)	563 (267)	538 (259)	94.3	97.0	95.6	4,211	1 (1)	—
商学部第二部	123 (31)	100 (24)	89 (23)	86.8	95.8	89.0	4,188	1 (0)	1 (1)
理学部	231 (70)	170 (49)	165 (48)	96.7	98.0	97.1	4,398	44 (13)	2 (1)
工学部	600 (101)	505 (89)	505 (89)	100.0	100.0	100.0	4,994	74 (10)	—
医学部	104 (101)	98 (95)	98 (95)	100.0	100.0	100.0	4,424	1 (1)	1 (1)
薬学部	204 (148)	168 (126)	168 (126)	100.0	100.0	100.0	4,798	8 (3)	—
スポーツ科学部	292 (101)	247 (93)	245 (93)	98.7	100.0	99.2	4,182	10 (3)	—
合計	3,942 (1,664)	3,328 (1,442)	3,226 (1,405)	96.6	97.4	96.9	6,262	171 (51)	7 (6)

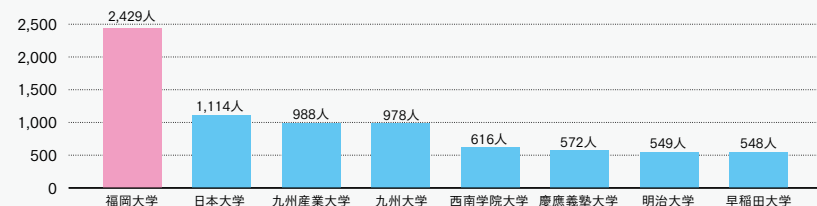
※医学部は医学部医学科を除く。

就職希望者以外の者は、資格取得希望者などです。

就職率算出方法：就職決定者 / (就職決定者 + 民間企業希望未決定者)

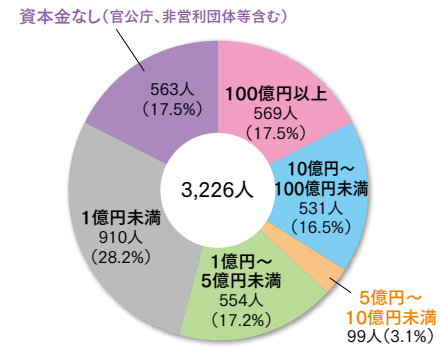
## 九州の社長

(平成 30 年 3 月) ※東京商工リサーチ調べ

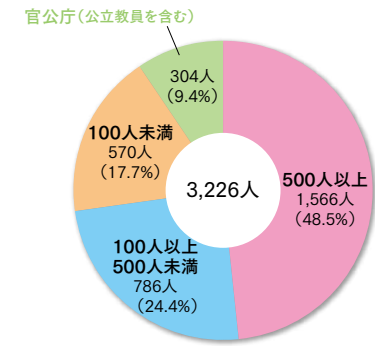


## 規模別就職状況

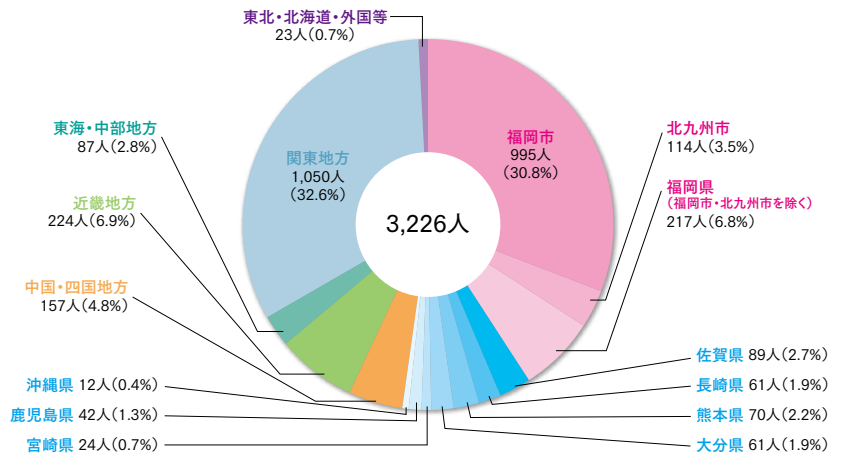
### ◆資本金別



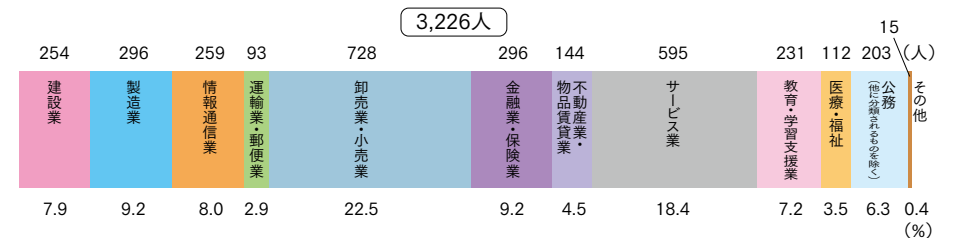
### ◆従業員別



## 地域別就職状況



## 業種別就職状況



DATA

# 教職員数

平成 30 年 5 月 1 日現在  
( ) は女性数 (内数)

## ◆ 教員数

部局	教授	准教授	講師	助教	助手	計
人文学部	78 (15)	40 (9)	14 (7)		2	134 (31)
法学部	25 (4)	11 (2)	3 (1)			39 (7)
経済学部	25 (4)	9 (1)	4			38 (5)
商学部	29	14 (2)	3 (1)			46 (3)
理学部	42	12	1	44 (5)	5 (4)	104 (9)
工学部	56 (1)	15	1	52 (9)	22 (4)	146 (14)
医学部	54 (8)	39 (16)	49 (15)	80 (23)	3 (3)	225 (65)
薬学部	23 (1)	20	3 (3)	43 (13)		89 (17)
スポーツ科学部	22 (1)	6 (1)	4 (1)	17 (1)	9 (5)	58 (9)
法科大学院	10 (2)	2			1	13 (2)
福岡大学病院	6	12 (1)	47 (5)	106 (27)	187 (64)	358 (97)
福岡大学筑紫病院	9	10	18 (2)	43 (6)	52 (13)	132 (21)
福岡大学西新病院	1	2	2	11 (1)	2	18 (1)
その他 (共通教育研究センター他)	10 (1)	7 (2)	27 (15)	6 (4)	1	51 (22)
<b>合計</b>	<b>390 (37)</b>	<b>199 (34)</b>	<b>176 (50)</b>	<b>402 (89)</b>	<b>284 (93)</b>	<b>1,451 (303)</b>

※ 出向 (部外修練) 中の大学病院助手を除く。助手には教育嘱託 2 人を含む。

## ◆ 職員数

部門	事務職員	教育技術職員	医療技術職員	看護職員	労務職員	計
福岡大学	450 (233)	95 (66)	3 (3)	8 (8)	20 (3)	576 (313)
福岡大学病院	101 (60)	1 (1)	267 (137)	950 (908)	73 (71)	1,392 (1,177)
福岡大学筑紫病院	55 (34)		109 (61)	365 (358)	9 (8)	538 (461)
福岡大学西新病院	9 (6)		35 (21)	69 (64)	8 (7)	123 (98)
<b>合計</b>	<b>615 (333)</b>	<b>96 (67)</b>	<b>414 (222)</b>	<b>1,392 (1,338)</b>	<b>110 (89)</b>	<b>2,629 (2,049)</b>

※ 福岡大学西新病院には専任医師職員 2 人を総数に含む。

教職員数総計 **4,080 (2,352)**

# 附属学校教職員数

平成 30 年 5 月 1 日現在  
( ) は女性数 (内数)

附属学校	教員	職員	計
附属大濠中学校・高等学校	125 (26)	22 (9)	147 (35)
附属若葉高等学校	63 (25)	16 (10)	79 (35)
<b>合計</b>	<b>188 (51)</b>	<b>38 (19)</b>	<b>226 (70)</b>

法人教職員数 **4,306 (2,422)**

# 教員の年齢構成

平成 30 年 5 月 1 日現在  
( ) は女性数 (内数)

年齢層	教授	准教授	講師	助教	助手	計
29 歳以下			1	19 (3)	115 (48)	135 (51)
30 歳～ 39 歳	3	22 (2)	50 (16)	222 (46)	149 (38)	446 (102)
40 歳～ 49 歳	58 (5)	108 (17)	91 (24)	129 (33)	10 (4)	396 (83)
50 歳～ 59 歳	156 (14)	50 (12)	30 (9)	27 (4)	4 (1)	267 (40)
60 歳～ 69 歳	171 (17)	19 (3)	4 (1)	5 (3)	6 (2)	205 (26)
70 歳以上	2 (1)					2 (1)
<b>合計</b>	<b>390 (37)</b>	<b>199 (34)</b>	<b>176 (50)</b>	<b>402 (89)</b>	<b>284 (93)</b>	<b>1,451 (303)</b>

# 外国籍教員数

平成 30 年 5 月 1 日現在  
( ) は女性数 (内数)

国・地域	教授	准教授	講師	助教	助手	計
韓国	1		3 (1)	1	4 (1)	9 (2)
中国	5 (1)	2	3 (3)	4 (1)		14 (5)
朝鮮				1		1
フィリピン			1			1
タイ				1 (1)		1 (1)
バングラデシュ				1 (1)		1 (1)
オーストラリア	2		2 (1)			4 (1)
ニュージーランド			1			1
イギリス	1 (1)	1	3 (2)			5 (3)
アイルランド			1			1
フランス	1	1				2
ドイツ		1 (1)	2 (1)			3 (2)
ベルギー	1 (1)					1 (1)
モルドバ	1					1
カナダ	1		2 (1)			3 (1)
アメリカ	4 (1)		4	1		9 (1)
<b>合計</b>	<b>17 (4)</b>	<b>5 (1)</b>	<b>22 (9)</b>	<b>9 (3)</b>	<b>4 (1)</b>	<b>57 (18)</b>

# 海外協定校一覧

平成 30 年 5 月 1 日現在

22 カ国・地域 69 大学 1 機関

国・地域等	大学等	締結年月日	
アジア・オセアニア	韓国	蔚山大学校	1990.12.06
		釜山大学校	2000.12.04
		梨花女子大学校	2001.09.04
		東義大学校	2002.03.29
		高麗大学校	2002.10.25
		啓明大学校	2006.12.18
		仁川大学校	2010.05.27
		東亜大学校	2010.06.02
		東西大学校	2010.06.29
		慶熙大学校	2011.08.19
		釜慶大学校	2012.04.10
		東国大学校慶州キャンパス	2013.07.19
		国民大学校	2013.11.13
		培材大学校	2015.09.18
		慶南大学校	2018.02.16
	中国	華東師範大学	2000.08.30
		中国政法大学	2001.07.09
		揚州大学	2002.01.21
		煙台大学	2002.08.01
		広州大学	2007.06.22
		中央財經大学	2008.11.21
		東北林業大学	2011.04.08
		ハルビン師範大学	2011.04.25
		黒龍江大学	2011.09.28
		ハルビン理工学大学	2012.09.07
		ハルビン商業大学	2012.09.08
		西安交通大学	2013.07.25
		西北大学	2013.09.23
		長安大学	2015.05.12
		国家法官学院	2005.09.13
	台湾	輔仁大学	2001.05.30
		国立高雄大学	2012.04.01
		銘傳大学	2015.06.25
フィリピン	ドゥ・ラ・サル大学	2002.08.09	
	セントラル・フィリピン大学	2017.01.05	

国・地域等	大学等	締結年月日	
アジア・オセアニア	マレーシア	スルタン・イドリス教育大学	2010.05.17
		サリバジャヤ医療科学大学	2017.08.10
	インドネシア	ガジャマダ大学	2002.02.01
		パジャジャラン大学	2012.10.26
		イスラム大学ジャカルタ校	2017.03.10
	イスラム大学マラン校	2017.11.22	
	ネパール	トリブヴァン大学	2001.10.12
	ベトナム	ハノイ大学	2013.08.29
		ダナン大学	2013.10.22
	カンボジア	ブノンベン大学	2015.07.24
	タイ	カセサート大学	2017.01.27
	オーストラリア	グリフィス大学	1991.11.28
ヨーロッパ	イギリス	ニューカッスル大学	1986.06.28
		リーズ大学	1990.12.11
		バース大学	2003.06.08
		セントラル・ランカシャー大学	2017.07.21
	フランス	パリ・ディドロ大学・パリ第7	2006.12.21
		リヨン政治学院	2012.11.20
		セルジー・ポントワーズ大学	2012.11.22
	バイオ産業大学	2017.09.15	
	ベルギー	ルーヴァン・カトリック大学	1997.06.25
		リエージュ大学	2013.07.01
	ドイツ	フリードリヒ・シラー大学イェナ	2009.06.25
		デュースブルク・エッセン大学	2015.06.24
	イタリア	パドヴァ大学	2002.07.24
	トルコ	パムッカレ大学	2009.08.10
	スペイン	ヴァレンシア大学	2011.02.22
セビージャ大学		2017.04.11	
フィンランド	タンペレ大学	2011.04.19	
アフリカ	ケニア	ジョモケニアッタ農業工業大学	2017.07.24
南北アメリカ	アメリカ合衆国	ウオッシュュバン大学	1984.10.01
		カンザス大学	1988.01.09
		ジョージア工科大学	1995.07.31
		シアトル大学	2016.02.18
	ブラジル	連邦立サンタ・カタリナ大学	2002.01.11

DATA

# 外国人留学生数

平成 30 年 5 月 1 日現在  
( ) は女子数 (内数)

## ◆ 国・地域別

国・地域	学部留学生	大学院留学生			研究生	交換留学生	留学生別科生	合計
		修士課程・博士課程前期	博士課程後期・博士課程	専門職学位課程				
韓国	6 (3)	1 (1)			17 (9)	2 (1)	26 (14)	
中国	45 (18)	26 (17)	12 (6)		11 (6)	8 (6)	142 (82)	
台湾	3					3 (2)	6 (2)	
マレーシア	1 (1)		1				2 (1)	
インドネシア	1 (1)				1 (1)		2 (2)	
ベトナム	3 (2)	4 (3)			5 (2)	2 (2)	11 (11)	
モンゴル			1 (1)				1 (1)	
イギリス	1						1	
フランス					5 (4)		5 (4)	
ドイツ	1				4 (2)		5 (2)	
オランダ					1		1	
アメリカ						1	1	
合計	61 (25)	31 (21)	14 (7)	0	16 (8)	41 (26)	217 (128)	

## ◆ 学部・大学院研究科別

学部・大学院研究科	学部留学生	大学院留学生			研究生	交換留学生	留学生別科生	合計
		修士課程・博士課程前期	博士課程後期・博士課程	専門職学位課程				
人文	11 (5)	3 (3)	1 (1)		2 (1)	31 (22)	48 (32)	
法	1		2 (1)			2 (1)	5 (2)	
経済	6 (3)	10 (8)	1		7 (2)	1 (1)	25 (14)	
商	28 (13)	10 (7)	4 (3)		7 (5)	3 (1)	52 (29)	
理	5 (3)					2 (1)	7 (4)	
工	9 (1)	8 (3)	1			2	20 (4)	
医	1		4 (2)				5 (2)	
薬								
スポーツ科			1				1	
専門職学位課程								
留学生別科						54 (41)	54 (41)	
合計	61 (25)	31 (21)	14 (7)	0	16 (8)	41 (26)	217 (128)	

# 海外派遣学生数

平成 29 年度

## ◆ 国・地域別

国・地域	派遣期間		合計
	3月未満	3月-1年	
韓国	80	22	102
中国	19	5	24
フィリピン	9		9
マレーシア	7		7
インドネシア	7		7
ベトナム	11		11
シンガポール	6		6
オーストラリア	52		52
ニュージーランド	24		24
イギリス	47	2	49
フランス	25	5	30
ドイツ	17	11	28
ベルギー		2	2
マルタ	15		15
カナダ	35		35
アメリカ	110		110
合計	464	47	511

## ◆ 学部別

学部	派遣期間		合計
	3月未満	3月-1年	
人文学部	123	45	168
法学部	75		75
経済学部	79		79
商学部	71	1	72
商学部第二部	9		9
理学部	23	1	24
工学部	57		57
医学部	8		8
薬学部	8		8
スポーツ科学部	11		11
合計	464	47	511

# 附属学校

## ◆ 生徒数

平成 30 年 5 月 1 日現在

附属大濠中学校	506 (203)
附属大濠高等学校	1,918 (605)
附属若葉高等学校	888 (888)

※ ( ) は女子数 (内数)

## ◆ 卒業生数

平成 30 年 3 月 31 日現在

	平成29年度	累計
附属大濠中学校	167	2,167
附属大濠高等学校	657	43,996
附属大濠中学校(旧制)	—	1,080
附属若葉高等学校 (含む旧九州女子高等学校)	369	49,573

# 留学生別科

## ◆ 学生数

平成 30 年 5 月 1 日現在

54 (41)
---------

※ ( ) は女子数 (内数)

## ◆ 修了者数

平成 30 年 3 月 31 日現在

平成29年度	累計
48	225

## 授業料等納入金

### ◆学部

(単位：円)

学部(学科)	入学金	毎年納付金			特別教育 充実費	
		授業料	教育充実費	計		
人文・法・経済・商	190,000	680,000	160,000	840,000	—	
商二	60,000	310,000	80,000	390,000	—	
理・工	240,000	930,000	350,000	1,280,000	—	
医(医)	初年度(1年次)	1,000,000	3,912,000	688,000	4,600,000	4,000,000
	2・3年次	—	3,912,000	688,000	4,600,000	2,500,000
	4年次以降	—	3,912,000	688,000	4,600,000	—
医(看護)	270,000	970,000	430,000	1,400,000	—	
薬	初年度(1年次)	400,000	1,310,000	280,000	1,590,000	—
	2年次以降	—	1,310,000	690,000	2,000,000	—
スポーツ科	300,000	740,000	320,000	1,060,000	—	

\* 修業年限は4年。ただし、医学部医学科および薬学部は6年。

### ◆大学院修士課程・博士課程前期

(単位：円)

研究科(専攻)	入学金	毎年納付金		
		授業料	教育充実費	計
人文科学・法学・経済学・商学	200,000	470,000	120,000	590,000
理学・工学・薬学(健康薬科学)	240,000	630,000	140,000	770,000
医学(看護学)	240,000	470,000	140,000	610,000
スポーツ健康科学	240,000	570,000	130,000	700,000

\* 標準修業年限は2年。

・ 本学の学部を卒業した者の入学金は半額免除。

### ◆大学院博士課程後期・博士課程

(単位：円)

研究科	入学金	毎年納付金		
		授業料	教育充実費	計
人文科学・法学・経済学・商学	200,000	400,000	120,000	520,000
理学・工学・医学・薬学	240,000	560,000	140,000	700,000
スポーツ健康科学	240,000	510,000	130,000	640,000

\* 標準修業年限は3年。ただし、医学および薬学研究科は4年。

・ 本学の学部を卒業した者の入学金は半額免除、本学の修士課程・博士課程前期を修了した者の入学金は全額免除。

### ◆専門職学位課程(法科大学院)

(単位：円)

研究科	入学金	毎年納付金		
		授業料	教育充実費	計
法曹実務	110,000	600,000	120,000	720,000

\* 標準修業年限は3年(既修者コースは2年)。

・ 本学の学部を卒業した者および本学の大学院を修了した者の入学金は半額。

(注) 平成30年度入学生適用。

・ 毎年納付金は入学時(2年次以降4月)と9月に半額ずつ分割納付。

・ 他に学生健康保険互助組合費等の委託徴収金(初年度額：商学部第二部22,370円、

それ以外の学部26,710円、大学院18,100円)を入学時(2年次以降4月)に併せて納入。

詳細は福岡大学会計課のウェブサイト(<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu807/gakui/>)をご覧ください。

## 図書館蔵書数・利用状況

平成29年度

### ◆蔵書数(冊)

和書	1,152,266
洋書	856,563
合計	2,008,829

### ◆雑誌数(種類)

和文誌	11,283
欧文誌	9,400
合計	20,683

### ◆学部学生貸出数(冊)

71,631

### ◆図書館入館者数(人)

882,664

## 学外からの研究費受入額

平成29年度

	受入件数	受入額(千円)
科研費	241	372,800
受託研究	101	284,638
研究助成寄附金	558	438,694
学外との共同研究	68	121,543
合計	968	1,217,675

## 校地・校舎の面積

平成30年4月1日現在

区分	所在地	校地面積(m <sup>2</sup> )	校舎面積(m <sup>2</sup> )
七隈校地	福岡市城南区七隈	549,981	420,439
筑紫野校地	筑紫野市俗明院	23,942	33,331
西新校地	福岡市早良区祖原	3,551	7,051
高宮校地	福岡市南区大楠	19,333	63
小戸校地	福岡市西区小戸	984	299
六本松校地	福岡市中央区六本松	7,616	2,344
久住校地	大分県竹田市久住町白丹	2,000	486
九重校地	大分県九重町田野	49,344	5,075
西都校地	福岡市西区西都	28,474	587
北九州校地	北九州市若松区向洋町	6,565	1,386
〃	北九州市若松区ひびきの	—	246
大牟田校地	大牟田市健老町	—	53
糸島校地	糸島市東	—	127
合計		691,790	471,487



《平成30年度予算の重点施策》

- (1) 教育体制の整備・充実 (2) 研究体制の整備・充実 (3) 医療体制の整備・充実
- (4) 社会貢献および地域連携の整備・充実 (5) 経営基盤の強化

平成30年度事業活動収支予算

(予算規模 779 億円)

(単位：千円)

No.	科目	30年度予算額	29年度予算額	差異
1	学生生徒等納付金	27,056,023	26,677,736	378,287
2	手数料	1,442,923	1,421,036	21,887
3	寄付金	868,225	834,614	33,611
4	経常費等補助金	4,878,659	5,063,209	△ 184,550
5	付随事業収入	1,133,534	1,115,386	18,148
6	医療収入	39,584,958	36,992,924	2,592,034
7	雑収入	1,780,783	1,567,748	213,035
8	教育活動収入計	76,745,105	73,672,653	3,072,452
9	人件費	41,617,099	40,155,607	1,461,492
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(2,658,029)	(2,380,948)	(277,081)
11	教育研究経費	32,038,200	31,272,925	765,275
12	(うち減価償却額)	(6,188,264)	(6,183,428)	(4,836)
13	管理経費	3,745,983	3,082,854	663,129
14	(うち減価償却額)	(413,524)	(402,509)	(11,015)
15	教育活動支出計	77,401,282	74,511,386	2,889,896
16	教育活動収支差額 (8-15)	△ 656,177	△ 838,733	182,556
17	受取利息・配当金	846,640	681,321	165,319
18	その他の教育活動外収入	36,000	30,000	6,000
19	教育活動外収入計	882,640	711,321	171,319
20	借入金等利息	141,422	152,826	△ 11,404
21	その他の教育活動外支出	0	0	0
22	教育活動外支出計	141,422	152,826	△ 11,404
23	教育活動外収支差額 (19-22)	741,218	558,495	182,723
24	経常収支差額 (16+23)	85,041	△ 280,238	365,279
25	資産売却差額	0	0	0
26	その他の特別収入	295,937	744,211	△ 448,274
27	特別収入計	295,937	744,211	△ 448,274
28	資産処分差額	0	0	0
29	その他の特別支出	0	0	0
30	特別支出計	0	0	0
31	特別収支差額 (27-30)	295,937	744,211	△ 448,274
32	[予備費]	369,354	347,371	21,983
33	基本金組入前当年度収支差額 (24+31-32)	11,624	116,602	△ 104,978
34	基本金組入額合計	△ 3,861,904	△ 5,066,174	1,204,270
35	当年度収支差額 (33+34)	△ 3,850,280	△ 4,949,572	1,099,292
36	前年度繰越収支差額	△ 20,664,305	△ 19,530,459	△ 1,133,846
37	翌年度繰越収支差額 (35+36)	△ 24,514,585	△ 24,480,031	△ 34,554
38	事業活動収入計 (8+19+27)	77,923,682	75,128,185	2,795,497
39	事業活動支出計 (15+22+30+32)	77,912,058	75,011,583	2,900,475

経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支を見ることができ、30年度は6億5,600万円の支出超過となる見込み。西新病院の開設等に伴い、29年度より医療収入が25億9,200万円増加、人件費が14億6,100万円増加。

経常的な収支バランスを見ることができ、30年度は8,500万円の収入超過となる見込み。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、30年度は2億9,600万円の収入超過となる見込み。29年度より建物の耐震化に係る補助金の減少に伴い4億4,800万円減少。

良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額である。29年度より施設関係支出の減少に伴い12億400万円減少。

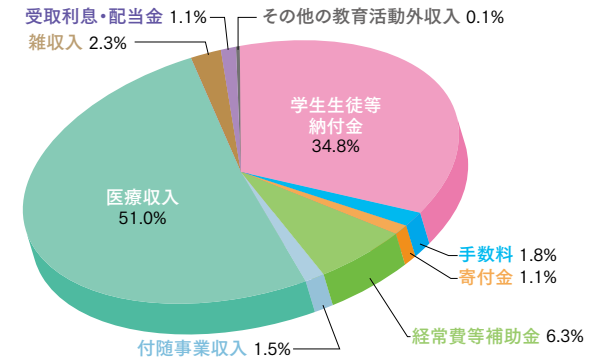
経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることができ、30年度は7億4,100万円の収入超過となる見込み。

毎年度の収支バランスを見ることができ、従来の帰属収支差額である。30年度は1,200万円の収入超過となる見込み。

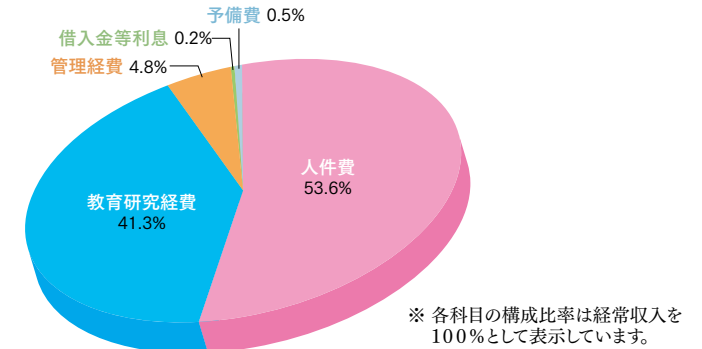
基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除したものの、30年度は38億5,000万円の支出超過となる見込み。

経常収入に対する比率

◆ 経常収入



◆ 経常支出



事業活動収支予算の概要

※平成27年度より学校法人会計基準の改正に伴い、消費収支予算から事業活動収支予算に変更となっています。

- ・従来の帰属収支差額に相当する No.33 基本金組入前当年度収支差額 (No.38 事業活動収入 - No.39 事業活動支出) は、1,200万円の収入超過を見込んでおり、従来の帰属収支差額比率に相当する事業活動収支差額比率 (No.33 基本金組入前当年度収支差額 ÷ No.38 事業活動収入) は、0.0%となっています。
- ・人件費比率 (No.9 人件費 ÷ 経常収入 [No.8 教育活動収入 + No.19 教育活動外収入]) は、53.6%となり、前年度予算より0.4ポイント低くなっています。

## 平成30年度資金収支予算

(予算規模 1,147 億円)

(単位:千円)

### 《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院、筑業病院、西新病院、博多駅クリニックの医療収入です。

・長期、短期の貸付金の回収額  
・税金等の預り金受入額  
・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した額

収入の部				
No.	科目	30年度予算額	29年度予算額	差異
1	学生生徒等納付金収入	27,056,023	26,677,736	378,287
2	手数料収入	1,442,923	1,421,036	21,887
3	寄付金収入	983,224	928,583	54,641
4	補助金収入	5,059,596	5,713,451	△ 653,855
5	付随事業・収益事業収入	1,169,534	1,145,386	24,148
6	医療収入	39,584,958	36,992,924	2,592,034
7	受取利息・配当金収入	846,640	681,321	165,319
8	雑収入	1,780,783	1,567,748	213,035
9	前受金収入	5,262,927	5,234,565	28,362
10	その他の収入	28,385,415	28,737,454	△ 352,039
11	資金収支調整勘定	△ 13,425,912	△ 13,134,386	△ 291,526
12	収入計	98,146,111	95,965,818	2,180,293
13	前年度繰越支払資金	16,585,004	17,680,791	△ 1,095,787
14	収入の部合計	114,731,115	113,646,609	1,084,506

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

(単位:千円)

教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

学長裁量経費、文部科学省施策対応および予算編成時において予期しない支出に対応するためのものです。

支出の部				
No.	科目	30年度予算額	29年度予算額	差異
15	人件費支出	41,442,906	39,828,694	1,614,212
16	教育研究経費支出	25,849,936	25,089,496	760,440
17	管理経費支出	3,332,459	2,680,345	652,114
18	借入金等利息支出	141,422	152,826	△ 11,404
19	借入金等返済支出	568,150	568,150	0
20	施設関係支出	3,258,783	5,152,919	△ 1,894,136
21	設備関係支出	1,986,108	1,665,842	320,266
22	資産運用支出	8,693,527	8,765,134	△ 71,607
23	その他の支出	19,307,064	19,490,680	△ 183,616
24	予備費	371,235	350,000	21,235
25	資金収支調整勘定	△ 5,608,726	△ 6,086,650	477,924
26	支出計	99,342,864	97,657,436	1,685,428
27	翌年度繰越支払資金	15,388,251	15,989,173	△ 600,922
28	支出の部合計	114,731,115	113,646,609	1,084,506

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

## 資金収支予算の概要

注 ↑…増加を示す ↓…減少を示す

### 《収入の部》

No.1 学生生徒等納付金収入 ↑  
収容定員増に伴う予算学生数の増加。

No.4 補助金収入 ↓  
私学事業団から交付される経常費補助金および建物の耐震化に係る補助金の減少。

No.6 医療収入 ↑  
西新病院開設に伴う医療収入の増加。

### 《支出の部》

No.15 人件費支出 ↑  
西新病院開設に伴う給与費の増加。

No.16 教育研究経費支出 ↑  
西新病院開設に伴う医療経費支出等の増加。

No.17 管理経費支出 ↑  
事務情報システム更新に伴う委託費等の増加および西新病院開設に伴う経費の増加。

No.20 施設関係支出 ↓  
4号館竣工に伴う建物支出の減少。

### 《資金収支規模と翌年度繰越支払資金》

- ・資金収支予算の合計は1,147億円で、前年度予算より11億円の増加となっています。
- ・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は154億円で、前年度予算より6億円の減少となっています。

## 《平成30年度予算の特徴》

- 教育関係
  - ① 学内情報システム更新
  - ② 入学前予約型給付奨学金「七隈の杜」
  - ③ ものづくりセンター設備整備費
  - ④ グローバル人材育成推進事業費
  - ⑤ 学部教育充実経費
  - ⑥ 福大生ステップアッププログラム経費
  - ⑦ F D活動推進経費
  - ⑧ マルチメディア設備一式更新 (1031 教室他)
- 研究関係
  - ① 基盤研究機関研究所 (福岡・東アジア・地域共生研究所他 8 研究所)
  - ② 産学官連携研究機関研究所 (資源循環・環境制御システム研究所他 10 研究所)
  - ③ 研究ブランディング事業費
- メディカル部門
  - ① 福岡大学病院
    - ・内視鏡機器一式 (3 部署)
    - ・血管造影画像システム更新
  - ② 筑業病院
    - ・デジタルX線TVシステム
    - ・術中神経モニタリング装置
  - ③ 西新病院
    - ・血管造影システム
    - ・気管支鏡システム
- 施設関係
  - ① 5号館他2棟耐震改修工事
  - ② 新公認室内プール (仮称) 新築工事
  - ③ 第一記念会堂解体工事
  - ④ 医学部看護学科棟南側立体駐車場 (仮称) 新築工事
  - ⑤ 文系センター低層棟各階南側トイレ他改修工事
  - ⑥ 筑業病院保育所新築工事
- 学長裁量経費
- その他
  - ① 事業所内保育所「ななくまのり保育園」運営費

## 《学校法人会計の豆知識》

- ・平成27年度から学校法人会計基準が改正され、資金収支計算書では勘定科目等の見直しが行われています。また、従来の消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書となり、内容が大幅に変更されています。消費収支計算書では、収入・支出とも総額で把握していましたが、近年の臨時的・事業外の収支の増加を踏まえ、区分経理を導入し収支を経常的なものと臨時的なものに、さらに経常的な収支を教育活動と教育活動外に分けて把握することができるようになりました。また、近年の私学を取り巻く経営環境の変化に対応するため、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入れ前の収支差額も、表示されるようになりました。
- ・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

### (1) 資金収支計算書

- ① 企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持つ計算書です。
- ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。

### (2) 事業活動収支計算書

- ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
- ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。

※本学公式ウェブサイトの情報公表・財務状況(<https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/finance/>)では、詳細な予算情報を公開していますのでご覧ください。

1. 事業活動収支においては、11億8,100万円の収入超過となりました。
2. 基本金組入額を17億3,000万円計上しました。

## 平成28年度事業活動収支計算書

(決算規模 746億円)

(単位：千円)

No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金	26,940,254	26,640,294	299,960
2	手数料	1,351,982	1,480,732	△ 128,750
3	寄付金	785,186	937,111	△ 151,925
4	経常費等補助金	4,872,112	5,081,588	△ 209,476
5	付随事業収入	1,041,550	1,080,905	△ 39,355
6	医療収入	37,507,334	35,105,804	2,401,530
7	雑収入	1,463,716	1,780,796	△ 317,080
8	教育活動収入計	73,962,134	72,107,230	1,854,904
9	人件費	40,167,685	39,287,006	880,679
10	(うち退職給与引当金繰入額)	(2,358,346)	(2,425,941)	(△ 67,595)
11	教育研究経費	31,175,597	30,752,136	423,461
12	(うち減価償却額)	(6,168,475)	(6,193,874)	(△ 25,399)
13	管理経費	3,155,584	2,997,867	157,717
14	(うち減価償却額)	(405,759)	(396,241)	(9,518)
15	徴収不能額等	0	15,353	△ 15,353
16	教育活動支出計	74,498,866	73,052,362	1,446,504
17	教育活動収支差額(8-16)	△ 536,732	△ 945,132	408,400
18	受取利息・配当金	799,959	742,789	57,170
19	その他の教育活動外収入	0	36,000	△ 36,000
20	教育活動外収入計	799,959	778,789	21,170
21	借入金等利息	161,765	166,499	△ 4,734
22	その他の教育活動外支出	0	0	0
23	教育活動外支出計	161,765	166,499	△ 4,734
24	教育活動外収支差額(20-23)	638,194	612,290	25,904
25	経常収支差額(17+24)	101,462	△ 332,842	434,304
26	資産売却差額	0	1,073,892	△ 1,073,892
27	その他の特別収入	286,850	642,787	△ 355,937
28	特別収入計	286,850	1,716,679	△ 1,429,829
29	資産処分差額	0	184,855	△ 184,855
30	その他の特別支出	798	18,007	△ 17,209
31	特別支出計	798	202,862	△ 202,064
32	特別収支差額(28-31)	286,052	1,513,817	△ 1,227,765
33	[予備費]	(224,402)	272,909	272,909
34	基本金組入前当年度収支差額(25+32-33)	114,605	1,180,975	△ 1,066,370
35	基本金組入額合計	△ 3,537,858	△ 1,730,112	△ 1,807,746
36	当年度収支差額(34+35)	△ 3,423,253	△ 549,137	△ 2,874,116
37	前年度繰越収支差額	△ 18,310,091	△ 16,819,066	△ 1,491,025
38	基本金取崩額	0	12,113	△ 12,113
39	翌年度繰越収支差額(36+37+38)	△ 21,733,344	△ 17,356,090	△ 4,377,254
40	事業活動収入計(8+20+28)	75,048,943	74,602,698	446,245
41	事業活動支出計(16+23+31+33)	74,934,338	73,421,723	1,512,615

経常的な収支のうち、本業の教育活動の収支を見ることができ、28年度は9億4,500万円の支出超過となりました。予算に対して医療収入が24億200万円減少しました。

経常的な収支バランスを見ることができ、28年度は3億3,300万円の支出超過となりました。

資産売却や施設・設備関係の補助金等の臨時的な収支を見ることができ、28年度は15億1,400万円の収入超過となりました。資産売却差額として10億7,400万円を計上しました。

良好な教育・研究・医療環境を維持するための施設・設備等の額であり、予算に対して施設・設備関係支出が減少したことにより減少しました。

経常的な収支のうち、財務活動の収支を見ることができ、28年度は6億1,200万円の収入超過となりました。予算に対して受取利息・配当金が5,700万円減少しました。

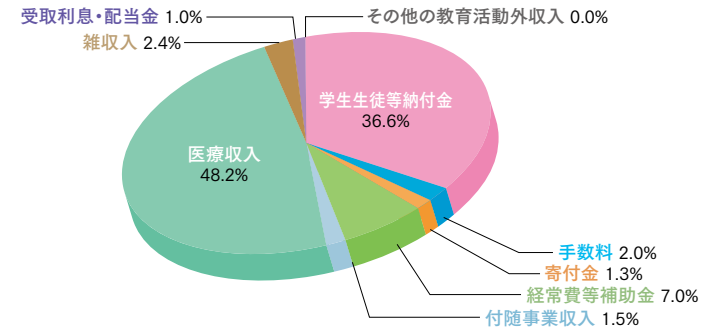
毎年度の収支バランスを見ることができ、従来の帰属収支差額です。28年度は11億8,100万円の収入超過となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額を控除したものです。28年度は5億4,900万円の支出超過となりました。

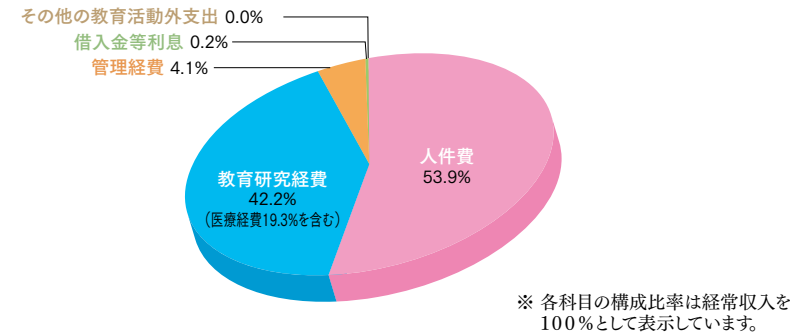
(注) [予備費]は未使用額を表し、( )内の金額は使用額を示す。

## 経常収入に対する比率

### ◆ 経常収入



### ◆ 経常支出



## 事業活動収支決算の概要(予算との比較)

注 ↑…増加を示す ↓…減少を示す

※学校法人会計基準の改正に伴い、平成27年度から消費収支計算書から事業活動収支計算書に変更となっています。

### 《収入の部》

#### No.6 医療収入

福岡大学病院・筑紫病院における入院患者数の減少。

#### No.26 資産売却差額

有価証券の償還差益。

### 《支出の部》

#### No.9 人件費

教職員数の差異等による減少。

#### No.11 教育研究経費

光熱水費等の減少。

- ・従来の帰属収支差額に相当する No.34 基本金組入前当年度収支差額 (No.40 事業活動収入 - No.41 事業活動支出) は、11億8,100万円の収入超過となり、従来の帰属収支差額比率に相当する事業活動収支差額比率 (No.34 基本金組入前当年度収支差額 ÷ No.40 事業活動収入) は、1.6%となっています。
- ・人件費比率 (No.9 人件費 ÷ 経常収入 [No.8 教育活動収入 + No.20 教育活動外収入]) は53.9%となり、前年度より1.1ポイント高くなっています。

(単位：千円)

《収入の3本柱》

学生生徒等が納める授業料や入学金などのこと。聴講料や補講料も含まれます。

国や地方公共団体などからの助成金です。

福岡大学病院、筑紫病院、博多駅クリニックの医療収入です。

・長期、短期の貸付金の回収額  
・税金等の預り金受入額  
・特定の目的のために積み立てた資産を取崩した場合の収入額

収入の部				
No.	科目	予算	決算	差異
1	学生生徒等納付金収入	26,940,254	26,640,294	299,960
2	手数料収入	1,351,982	1,480,732	△ 128,750
3	寄付金収入	905,186	1,020,312	△ 115,126
4	補助金収入	5,038,962	5,507,477	△ 468,515
5	資産売却収入	0	16,539,239	△ 16,539,239
6	付随事業・収益事業収入	1,041,550	1,116,905	△ 75,355
7	医療収入	37,507,334	35,105,804	2,401,530
8	受取利息・配当金収入	799,959	742,789	57,170
9	雑収入	1,463,716	1,817,718	△ 354,002
10	前受金収入	5,384,449	5,290,814	93,635
11	その他の収入	26,986,886	29,241,984	△ 2,255,098
12	資金収入調整勘定	△ 12,766,735	△ 13,343,592	576,857
13	前年度繰越支払資金	15,263,675	15,137,119	126,556
14	収入の部合計	109,917,218	126,297,595	△ 16,380,377

翌年度に入学予定の学生生徒等から受け入れる授業料や入学金などです。

収入として計上したが未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受け入れている収入を差し引くことにより、資金の収入額を調整するためのものです。

(単位：千円)

教職員に支払われる給与などのことです。

土地、建物、構築物などを取得するための支出です。

より良い教育研究サービスを提供するために資産を積み立てるための支出などです。

支出の部				
No.	科目	予算	決算	差異
15	人件費支出	39,997,164	39,132,793	864,371
16	教育研究経費支出	25,007,122	24,532,557	474,565
17	管理経費支出	2,750,622	2,607,130	143,492
18	借入金等利息支出	161,765	166,499	△ 4,734
19	借入金等返済支出	568,150	568,150	0
20	施設関係支出	4,916,144	4,425,205	490,939
21	設備関係支出	2,421,003	2,202,246	218,757
22	資産運用支出	4,318,598	22,277,646	△ 17,959,048
23	その他の支出	17,974,072	19,474,423	△ 1,500,351
24	[予備費]	(316,575)		
		183,425		183,425
25	資金支出調整勘定	△ 6,860,054	△ 7,036,590	176,536
26	翌年度繰越支払資金	18,479,207	17,947,536	531,671
27	支出の部合計	109,917,218	126,297,595	△ 16,380,377

学生生徒等の教育・研究・医療のために支出する経費です。

総務、人事、財務、経理等の業務に要する経費、教職員の福利厚生のための経費などです。

教育研究用の機器備品、管理用の機器備品、図書などを取得するための支出です。

支出として計上したが未払となっているものや、前払金支払支出として前年度までに支払っている経費を差し引くことにより、資金の支出額を調整するためのものです。

(注) [予備費] は未使用額を表し、( ) 内の金額は使用額を示す。

資金収支決算の概要(予算との比較)

注 ↑…増加を示す ↓…減少を示す

《収入の部》

No.4 補助金収入 ↑

私学事業団から交付される経常費補助金および建物の耐震化に係る補助金の増加。

No.5 資産売却収入 ↑

有価証券の満期および早期償還による。

No.7 医療収入 ↓

福岡大学病院・筑紫病院における入院患者数の減少。

No.11 その他の収入 ↑

税金等の預り金の増加。

《支出の部》

No.15 人件費支出 ↓

教職員数の差異等による減少。

No.16 教育研究経費支出 ↓

光熱水費等の減少。

No.22 資産運用支出 ↑

有価証券の購入および各種特定資産への繰り入れによる。

No.23 その他の支出 ↑

税金等の預り金の増加。

【資金収支規模と翌年度繰越支払資金】

- ・資金収支決算の合計は1,263 億円で、前年比 10 億 800 万円の財政規模縮小となっています。
- ・資金収支のてん末としての翌年度繰越支払資金は 179 億円で、前年比 28 億 1,000 万円の増加となっています。

## 平成 28 年度活動区分資金収支計算書

(単位：千円)

### 【教育活動による資金収支】

キャッシュベースでの本業である教育活動の収支状況を見るものです。

No.	科目	金額
1	学生生徒等納付金収入	26,640,294
2	手数料収入	1,480,732
3	特別寄付金収入	935,930
4	経常費等補助金収入	5,081,588
5	付随事業収入	1,080,905
6	医療収入	35,105,804
7	雑収入	1,779,675
8	教育活動資金収入計	72,104,928
9	人件費支出	39,132,793
10	教育研究経費支出	10,493,970
11	医療経費支出	14,038,587
12	管理経費支出	2,601,182
13	教育活動資金支出計	66,266,532
14	差引(8-13)	5,838,396
15	調整勘定等	400,266
16	教育活動資金収支差額(14+15)	6,238,662

### 【施設整備等活動による資金収支】

当該年度に施設設備の購入がどれだけあり、財源がどうであったかを見るものです。

No.	科目	金額
17	施設設備寄付金収入	84,382
18	施設設備補助金収入	425,889
19	第2号基本金引当特定資産取崩収入	2,451,690
20	引当特定資産取崩収入	1,422,873
21	施設整備等活動資金収入計	4,384,834
22	施設関係支出	4,425,205
23	設備関係支出	2,202,246
24	引当特定資産繰入支出	4,028,114
25	施設整備等活動資金支出計	10,655,565
26	差引(21-25)	△ 6,270,731
27	調整勘定等	1,515,099
28	施設整備等活動資金収支差額(26+27)	△ 4,755,632
29	小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)(16+28)	1,483,030

### 【その他の活動による資金収支】

借入金の収支、資金運用の状況等、主に財務活動を見るものです。

No.	科目	金額
30	有価証券売却収入	16,539,239
31	引当特定資産取崩収入	2,411,547
32	その他の収入	14,376,998
33	小計	33,327,784
34	受取利息・配当金収入	742,789
35	収益事業収入	36,000
36	過年度修正収入	38,043
37	その他の活動資金収入計	34,144,616
38	借入金等返済支出	568,150
39	有価証券購入支出	15,575,385
40	第4号基本金引当特定資産繰入支出	166,000
41	引当特定資産繰入支出	2,508,102
42	その他の支出	13,821,119
43	小計	32,638,756
44	借入金等利息支出	166,499
45	過年度修正支出	5,948
46	その他の活動資金支出計	32,811,203
47	差引(37-46)	1,333,413
48	調整勘定等	△ 6,026
49	その他の活動資金収支差額(47+48)	1,327,387
50	支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)(29+49)	2,810,417
51	前年度繰越支払資金	15,137,119
52	翌年度繰越支払資金	17,947,536

### 【活動区分資金収支計算書について】

活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の改正により、平成 27 年度決算より作成が義務付けられた計算書です。

平成 28 年度決算では、No. 16 教育活動資金収支差額は 62 億 3,900 万円の収入超過、No. 28 施設整備等活動資金収支差額は 47 億 5,600 万円の支出超過になり、合計は 14 億 8,300 万円の収入超過になりました。また、No. 49 その他の活動資金収支差額は 13 億 2,700 万円の収入超過となり、平成 28 年度の支払資金の増加額は 28 億 1,000 万円になりました。

### 【平成 28 年度に取得した主な施設・設備】

#### 〈施設関係〉(土地・建物・構築物・建設仮勘定)

1. 総合体育館新築工事
2. 工学部棟(仮称)新築工事
3. 博多駅クリニック店舗内装工事
4. 総合体育館外構工事
5. 10 号館耐震改修工事
6. 11 号館各階トイレ改修工事
7. 福岡市城南区七隈八丁目 20 番 4 他 1 筆土地購入
8. 8 号館北棟 1・中 3 階トイレ改修工事

#### 〈設備関係〉(機械器具)

1. 検体検査自動化システム(ラボスベクトTS)
2. デジタル乳房X線撮影装置
3. 内視鏡センター内視鏡機器(VPP)システム
4. CT検査装置

貸借対照表

(決算規模 2,383 億円)

(単位：千円)

資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	211,509,378	211,534,570	△ 25,192
有形固定資産	123,776,909	123,741,158	35,751
土地	20,314,587	20,265,316	49,271
建物	68,863,092	67,732,948	1,130,144
構築物	4,447,756	4,504,397	△ 56,641
教育研究用機器備品	12,830,431	13,937,780	△ 1,107,349
管理用機器備品	188,579	207,347	△ 18,768
図書	16,370,882	16,137,865	233,017
車両	9,184	14,184	△ 5,000
土地購入前渡金	0	9,770	△ 9,770
建設仮勘定	752,398	931,551	△ 179,153
特定資産	84,105,004	83,688,899	416,105
第2号基本金引当特定資産	11,824,713	14,276,403	△ 2,451,690
第3号基本金引当特定資産	2,353,879	2,353,879	0
第4号基本金引当特定資産	5,386,000	5,220,000	166,000
その他の特定資産	64,540,412	61,838,617	2,701,795
その他の固定資産	3,627,465	4,104,513	△ 477,048
電話加入権等	133,349	136,291	△ 2,942
収益事業元入金	847,570	829,693	17,877
貸付金	19,055	19,942	△ 887
貸与奨学金	2,493,890	2,939,933	△ 446,043
預託金	71,677	71,633	44
差入保証金	49,640	50,940	△ 1,300
長期前払金	12,284	56,081	△ 43,797
流動資産	26,804,879	24,766,986	2,037,893
現金預金	17,947,536	15,137,118	2,810,418
未収入金	8,027,568	8,675,456	△ 647,888
材料	126,685	151,563	△ 24,878
貯蔵品	6,991	6,957	34
立替金	13,296	36,275	△ 22,979
短期前払金	555,153	610,703	△ 55,550
仮払金	127,650	148,914	△ 21,264
資産の部合計	238,314,257	236,301,556	2,012,701

校舎、寮、体育館等の建物および建物附属設備（空調等）の額のことです。

教育研究のために使用される機械設備等の額のことです。

将来の特定の目的のために使用する資産のことです。

学生生徒等に貸与している奨学金の額のことです。

現金およびすぐに引き出すことのできる預貯金のことです。

決算日（3月31日）における補助金等の未収額のことです。

(単位：千円)

負 債 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定負債	26,196,738	26,390,614	△ 193,876
長期借入金	7,122,400	7,690,550	△ 568,150
長期未払金	582,224	362,164	220,060
退職給与引当金	18,492,114	18,337,900	154,214
流動負債	13,374,215	12,348,612	1,025,603
短期借入金	568,150	568,150	0
短期未払金	6,205,826	5,137,834	1,067,992
前受金	5,290,814	5,396,115	△ 105,301
預り金	1,303,973	1,245,633	58,340
仮受金	5,452	880	4,572
負債の部合計	39,570,953	38,739,226	831,727
純 資 産 の 部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
基本金	216,099,394	214,381,396	1,717,998
第1号基本金	196,534,802	192,531,114	4,003,688
第2号基本金	11,824,713	14,276,403	△ 2,451,690
第3号基本金	2,353,879	2,353,879	0
第4号基本金	5,386,000	5,220,000	166,000
第1号（施設・設備取得）	自己資金で購入した施設設備費の累計額。		
第2号（計画組入）	将来の施設設備取得のための積立金。		
第3号（各種基金）	奨学金等として保持している金額。		
第4号（運転資金）	恒常的に保持すべき資金の額（1カ月分の運転資金）		
繰越収支差額	△ 17,356,090	△ 16,819,066	△ 537,024
翌年度繰越収支差額	△ 17,356,090	△ 16,819,066	△ 537,024
純資産の部合計	198,743,304	197,562,330	1,180,974
負債及び純資産の部合計	238,314,257	236,301,556	2,012,701

返済期限が1年を超えて到来する借入金のことです。

28年度末に教職員全員が退職した場合に支払われる退職金の見積額のことです。

返済期限が1年以内に到来する借入金のことです。

翌年度に入学する学生生徒等から受け入れた授業料や入学金等のことです。

財産的な基盤となる額のことです。福岡大学が安定的かつ永続的に存続していくために必要な額です。

事業活動収支計算書の当年度収支差額の累計額を表します。長期的な収支の均衡を判断する指標となります。

## 貸借対照表

福岡大学の財政状態を分かりやすく見るために、それぞれを構成比で表しました。

### (貸借対照表の構造)

資産の部		負債の部	
固定資産	有形固定資産	固定負債	
	特定資産	流動負債	
	その他の固定資産	純資産の部	
流動資産		基本金	繰越収支差額

※資産 = 負債 + 純資産

資産の部	負債の部
有形固定資産 51.9	借入金等 6.6
	退職給与引当金 7.8
特定資産 35.3	前受金 2.2
	純資産の部
その他の固定資産 1.6	第1号 82.5
	第2号 5.0
流動資産 11.2	第3号 1.0
	第4号 2.2
	繰越収支差額 △7.3

負債  
16.6

基本金  
90.7  
学校法人福岡  
大学が存続して  
いくために必要な  
額です。

※平成29年3月31日現在の財政状態

## 【学校法人会計基準改正の概要】

- 平成27年度から学校法人会計基準が改正されています。
  - ① 資金収支計算書では勘定科目等の見直しが行われました。また、近年の施設設備の高度化・財務活動の多様化に対応した活動区分資金収支計算書の作成が義務付けられました。この計算書は、資金収支を「教育活動」「施設整備等活動」「その他の活動」に区分し、活動区分ごとの資金の流れを明らかにする計算書です。
  - ② 消費収支計算書は名称が事業活動収支計算書となり、内容が大幅に変更されています。消費収支計算書では、収入・支出とも総額で把握していましたが、近年の臨時的・事業外の収支の増加を踏まえ、区分経理を導入し収支を経常的なものと臨時的なものに、さらに経常的な収支を教育活動と教育活動外に分けて把握することができるようになりました。また、近年の私学を取り巻く経営環境の変化に対応するため、毎期の収支バランスを見るのに適した基本金組入前の収支差額も表示されるようになりました。
  - ③ 貸借対照表では、固定資産の中科目として新たに「特定資産」が設けられ、さらに従来の「基本金の部」と「消費収支差額の部」を合わせて「純資産の部」とし、保有する資産の調達源泉（他人資本・自己資本）を明確にしています。

## 【学校法人会計の豆知識】

・学校法人は営利の追求を目的とする一般企業とは異なり、教育研究活動を目的とする公共性の高い法人です。

### (1) 資金収支計算書

- ① 収入支出ごとに一覧表示になっており、予算管理に適した計算書です。
- ② 家庭でいえば家計簿のように現金預金の出入りを集計した計算書です。
- ③ 資金収支計算書を基に作成する「活動区分資金収支計算書」は、企業会計の「キャッシュフロー計算書」に似た性格を持ち、活動区分ごとの資金の流れを明らかにする計算書です。

### (2) 事業活動収支計算書

- ① 企業会計の「損益計算書」に似た性格を持つ計算書であり、採算の取れた経営を行っているか、経営上赤字になっていないかを見る計算書です。
- ② 企業会計の「損益計算書」では計上対象とならない資本的支出が基本金組入額として計上されています。

### (3) 貸借対照表

- ① 年度末における資産・負債・純資産を表します。
- ② 財政状態の健全性、必要資産の保有状況、今までの学校法人の活動を行ってきた積み重ねの結果を表します。

※本学公式ウェブサイトの情報公表・財務状況(<https://www.fukuoka-u.ac.jp/disclosure/finance/>)では、詳細な決算情報を公開していますのでご覧ください。

## 貸借対照表の概要 (前年度末との比較)

注 ↑…増加を示す ↓…減少を示す

### 資産の部

資産総額は20億1,300万円の増加。

- 流動資産 ↑  
現金預金の増加。

### 負債の部

負債総額は8億3,200万円の増加。

- 短期未払金 ↑  
施設関係支出の未払いの増加。

### 純資産の部

純資産総額は11億8,100万円の増加。

資産総額に占める純資産（自己資金）の割合は83.4%で0.2ポイント減少。

- 第1号基本金 ↑  
総合体育館、工学部棟（仮称）新築工事等に係る組入れによる。
- 第2号基本金 ↓  
第1号基本金への振替による
- 繰越収支差額  
翌年度繰越収支差額をマイナス173億5,600万円計上。

## 福岡大学公式ウェブサイト

<https://www.fukuoka-u.ac.jp/>



福岡大学の最新情報やトピックス等さまざまな情報を発信しています。サイトには新着情報収集機能(RSS)を備えており、情報をリアルタイムで確認することができます。また、公式Facebook、Twitterでも情報発信しています。

福岡大学公式SNS “最新ニュース”や“キャンパスの今”を発信中

Facebook ID:@FukuokaUniversity  
 Twitter ID:@Fukuoka\_Univ\_PR  
 YouTube 福岡大学公式チャンネル  
 Instagram ID:@fukuoka\_university

## 情報公表

本学は「建学の精神」と「教育研究の理念」に基づいた全人教育を通して、自発的で創造性豊かな人材を育成し、国や地域社会の発展に寄与することを目標としています。

この目標を達成するためには、社会からの適切な評価に基づく改善活動を通じ、絶えず教育・研究・医療の水準を向上させていくことが重要です。

本学は従来から情報の公表に努めてまいりましたが、本学の実態をより一層ご理解いただくため、教育・研究や組織運営、財務情報などからなる教育情報を公表しています。

本学は、教育情報の公表により自己分析を進めるとともに、頂いたご意見を基に、更なる教育・研究・医療の充実に取り組みます。

情報公表の詳細は福岡大学公式ウェブサイトをご覧ください。

### 公表項目

教育研究上の目的	基本組織
学生数等	教職員情報
授業計画と成績評価	カリキュラムと卒業・修了認定
学則	学費
教育研究環境	学生支援
財務状況	事業計画・事業報告
設置認可	自己点検・評価
格付け	国際
地域	産学官連携

## 広報誌

発行した広報誌は、福岡大学公式ウェブサイト(URL:<https://www.fukuoka-u.ac.jp/>)にも掲載しています。



大学案内

主に高校生やその保護者、高校教員等を対象にした広報誌です。学部学科の紹介をはじめ、卒業生の活躍や在学生の学びの様子等について紹介しています。入試情報等も一部掲載しています。(A4判184ページ)



学園通信

大学の現況や取り組み、卒業生や在学生の活躍、教員の研究、医療活動等を掲載した広報誌です。年4回(4月、6月、10月、1月)発行しています。公式ウェブサイトではバックナンバーも読むことができます。(A4判44ページ)



外国語版大学要覧

福岡大学の概要や取り組みを外国人向けに三カ国語(英・中・韓)で紹介するための冊子です。公式ウェブサイトにも掲載しています。(B5判86ページ)



七隈の杜

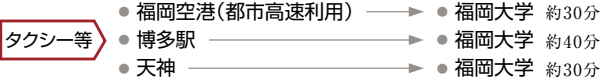
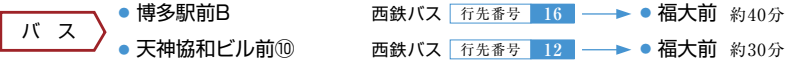
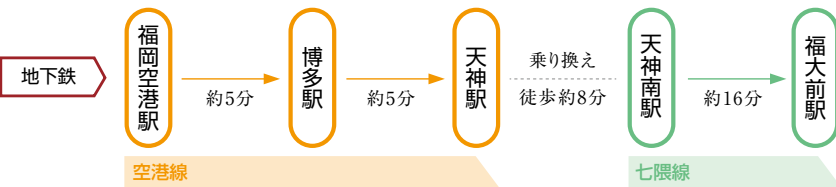
地域・社会に対して知の発信を行い、広く学術文化を伝えることを趣旨として年1回(1月)発行しています。内容はその時々の話題やテーマを中心に構成。本学教授陣はもとより、在学生、卒業生、職員その他、地域の方からも寄稿いただいています。(A5判約160ページ)





# 福岡大学アクセスマップ

乗り換え：地下鉄天神駅から地下鉄天神南駅まで、天神地下街を徒歩約8分



その他のアクセス方法は「福岡大学交通アクセス」でご確認ください。 <https://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/>

■ **福岡大学**  
 (人文・法・経済・商・商二・理・工・薬・スポーツ科学部  
 人文科学・法学・経済学・商学・理学・工学・薬学・スポーツ健康科学研究科、法科大学院)  
 〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
 TEL 092-871-6631(代)  
 (医学部、医学研究科)  
 〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号  
 TEL 092-801-1011(代)

■ **福岡大学病院**  
 〒814-0180 福岡市城南区七隈七丁目45番1号  
 TEL 092-801-1011(代)

■ **福岡大学筑紫病院**  
 〒818-8502 福岡県筑紫野市谷明院一丁目1番1号  
 TEL 092-921-1011(代)

■ **福岡大学西新病院**  
 〒814-8522 福岡市早良区祖原15番7号  
 TEL 092-831-1211(代)

■ **福岡大学博多駅クリニック**  
 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街9番1号  
 KITTE博多8階  
 TEL 092-435-1011

■ **福岡大学附属大濠中学校**  
 〒810-0044 福岡市中央区六本松一丁目12番1号  
 TEL 092-712-5828(代)

■ **福岡大学附属大濠高等学校**  
 〒810-0044 福岡市中央区六本松一丁目1番1号  
 TEL 092-771-0731(代)

■ **福岡大学附属若葉高等学校**  
 〒810-0062 福岡市中央区荒戸三丁目4番62号  
 TEL 092-771-1981(代)

■ **福岡大学東京事務所**  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門二丁目9番14号  
 郵政福祉虎ノ門第一ビル4階  
 TEL 03-3501-6629

■ **福岡大学ハルピン事務所**  
 中国ハルピン市経済開発区紅旗大街242号  
 福思特ビル12階1204号室  
 TEL +86-451-55544310



本学は、公益財団法人大学基準協会が行った2015年度の大学評価で、大学基準に適合しているとの認定を受けました。